

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書

教科用図書 教科別調査票
(調査員作成資料)

神奈川県教科用図書足柄上探択地区協議会

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 国語 】 No.【1/2】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい国語	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、言葉の使い方についての理解を深めながら語彙を広げる・「ことばあつめ」が設定されている。 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として取り上げている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各学年の冒頭に年間の学習の見通しを持つ場面、適時に学習を振り返ってめあてを新たにしている場面を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年ごとに取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、外国の生活や文化について知ることのできる題材やパラリンピックの題材を扱っている。 「社会とかかわる力」に関連して、海外と日本に着目した題材が6年間の中に随所に取り上げられている。仕事や働く人に焦点をあてた題材がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年の「町の未来をえがこう」、第2学年の「この人をしょうかいします」など、他教科との関連や地域との連携が図れる教材を取り上げている。 言語能力の確実な育成について、活動における基本的な進め方などを取り上げた「言葉の力」が全学年に設定されている。 体験活動の充実について、単元の終わりに「生かそう」が設定され、学習したことを実生活で生かすよう示唆されている。 第1学年では、文字の習得において、つまづきやすい、拗音、促音、長音を手拍子の図と記号で解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の理解が深まるように、巻末に、読み物教材、学習で使う言葉、各巻の振り返り、前年度の学びなどが掲載されている。 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために教材文の後(ふり返り)のページに「生かそう」として、他教科、学活等の時間での言語活動例が記述されている。 語彙を豊かにするための題材として、各学年、さまざまな観点で言葉を集め、言語についての理解を深めながら語彙を広げる「ことばあつめ」が掲載されている。 第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。 第1学年巻末の「あたらしくならったかんじ」では、漢字を大きく示している。 「独自に開発した教科書用の書体を使用しています」と記載されている。
学校図書 みんなと学ぶ 小学校国語	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、単元の冒頭に活動の概要を一覧で提示し、見通しがもてるようにしている。 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、身近な内容を題材とした言語活動を設定している。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各学年上、巻頭の「〇年生でつきたい力」、巻末の「〇年生をふりかえって」で1年間の学習内容を一覧で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」・「たくましく生きる力」・「社会とかかわる力」に関連して、いのちの大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年に取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、食育、国際化、情報化について学年で段階的に掲載している。 「社会とかかわる力」に関連して、仕事や働く人にかかわる作品や題材が随所に取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語能力の確実な育成について、各学年で、レッスン「文章の書き方、まとめ方」のページが設けられている。 体験活動の充実について、実際に体を動かして感じたことをテーマに沿って書いたり、ある人物になりきって話したりする活動が設定されている。 学校段階間の円滑な接続について、第1学年の入門期は、動物の挿絵の教材から導入し、第6学年では、6年間の国語の学習を振り返る活動が掲載されている。 情報の扱い方に関して、図化・表化・イメージマップなどの思考を整理する方法が発達段階に応じて示されている。 文章の内容をまとめたり、考えを整理したりするために、表の例示や構成を図で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の理解が深まるように、巻末に「言葉の部屋」「読書の部屋」、読み物教材などを掲載している。 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために、題材名の前に焦点化されたねらいが書かれている。 語彙を豊かにするための題材として、言葉で遊んだり表現したりする要素を取り入れている。 読書活動の充実を図るために、読書単元活動では、ブックトークなど、クラス全体で探究的な読書を行う内容が設定されている。 全学年、上下巻の分冊で編集されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました」と記載されている。 「カラーユニバーサルデザインの校閲」と巻末の表紙裏に記載されている。 第1学年巻末の「このほんでがくしゅうしたかんじ」では、「このほんでならうよみかた」と「あとでならうよみかた」を記号で区別している。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【国語】 No.【2/2】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>教育出版 ひろがる言葉 小学校国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、活動の流れや具体的な文例を掲載し、見通しをもたせている。 ・「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、各学年の「読む」学習では、児童が何について考え、表現するのか具体的な学びの観点を示している。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、これまでの学習を振り返り、言葉がもつよさについて認識する学習を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年に取り上げられている。関連して、コミュニケーションを育む教材や詩の題材で、友達の良さに目を向けるものを掲載している。4年生以上に戦争と平和について考えさせる題材の掲載がある。 ・「たくましく生きる力」に関連して、自分の考えや情報を伝達するために様々な媒体を活用する題材が設定されている。 ・「社会と力:かわる力」に関連して、第2～6学年には、町のことや地域のことを調べる学習活動がある。今日的な話題としての世界遺産やA I、エネルギーなどの題材が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年の「リーフレットで知らせよう」や第2学年の『生きものクイズ』を作ろうなど、他教科との関連を図る題材が設定されている。 ・言語能力の確実な育成について、学年の発達段階に応じて、時と場に応じて使えるよう項目ごとに分けた、巻末付録「言葉のまとめ」が掲載されている。 ・体験活動の充実について、他教科の学習と関連させることで、高学年でも学習を体験的に深められる内容が設定されている。 ・情報の扱い方に関して、学年の発達段階に応じて、必要な情報を取り出し、情報と情報の関係を整理するための語彙や文型が随所に示されている。読書活動の充実を図るために、「読むこと」の題材の最終ページに、目標に対応する「ここが大事」(要点)とともに関連図書の紹介がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年、上下巻の分冊で編集されている。 ・学校段階間の円滑な接続について、第1学年は挿絵から児童の言葉を引き出すような構成で始まり、第6学年は、「中学生で学ぶ特別な読み方の言葉」で終わっている。 ・全学年で、キャラクターを用いて着目ポイントを示している。使用する色の数を少なくしてページを構成している。 ・各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために日常生活や他教科の学習で応用できるよう、多様な言語活動例が随所に示されている。 ・語彙を豊かにするために、文学的文章の後に、「言葉」のページを掲載し、教材の中に出てきた言葉を学習する構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。 ・「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載されている。 ・文字の背景が白色ではなく、色がついている。
<p>光村 小学校国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、単元の最後に指導事項のポイントをまとめた後、今後の学習でどのように学習したことを活かしていくのかを紹介している。 ・「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、「読むこと」の単元では、指導事項と言語活動、これまでに学習したことを扉に掲載している。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、学習した内容のポイントを「たいせつ」と示し、今後の学習や生活に生かすことを「生かそう」と提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が、各学年に取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、「情報」のページがあり、情報の使い方や関連付けた伝え方などが学年に応じて示されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、各学年では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の題材に、学校や地域のことが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の「かんさつ名人になろう」など、教科横断的な学習や学校行事と関連した学習に関する単元が設定されている。 ・言語能力の確実な育成について、何をどのように学習するかを、学年の発達段階に応じた「学習の進め方」として示している。 ・学校段階間の円滑な接続について、第1学年の入門期では、絵を見て気づいたことを話す活動が設定され、第6学年では6年間で身につけた力を自ら振り返る活動が設定されている。 ・情報の扱い方に関して、「情報」のマークがあるページに、単元と関連させて「考えるときに使おう」「調べるときに使おう」などと掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の理解が深まるように、巻末に、「たいせつ」(要点)のまとめや読み物教材が掲載されている。 ・各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために言語活動例を身近な題材と関連させて設定している。 ・語彙を豊かにするために、巻末に「考えや気持ちを表す言葉」と「学習に用いる言葉」の一覧を掲載している。 ・読書活動の充実を図るために、各学年において「本は友達」の単元を2回設定し、うち1回を図書館の活用について重点的に学習する構成となっている。 ・第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「全てのページについて専門家による校閲を行っています」と記載されている。 ・「単元名や見出しには、ユニバーサルデザイン書体を使用しています」と記載されている。 ・第1学年の巻末の「このほんでならうかんじ」では、漢字の書く数が記載されている。「本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 書写 】 No.【1/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい書写	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、「何を学ぶか」を明確にした「書写のかぎ」が設定されている。また、小学校6年間で学ぶことが系統的に整理され、各単元に配置されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「書写のかぎ」を核とした問題解決型の単元展開が設定されている。また、習得と活用を組み合わせた学習過程が示されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年の「文字のいすみ」の「文字に込めた思い」では、人で表した文字や命名用紙が写真とともに掲載され、書いた人の思いが書に込められていることが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、命の大切さを学ぶ観点から、第2学年の「かんさつしたことを書こう」では、生き物の様子を書いた文と絵が例示されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、第5学年の38ページ、「世界の文字いろいろ」では、英語のラテン文字、中国語の漢字、韓国・朝鮮語のハングル文字、ロシア語のキリル文字、アラビア語のアラビア文字、ヒンディー語のデーバナーガリー文字の例示している。それぞれの文字についての解説文の提示している。参考書籍を提示している。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第5学年では、地域に呼びかけるポスター作りが教材として例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連として、第6学年では「総合的な学習の時間」に関連した、「発表のためのポスターを書こう」という題材が設定されている。その中で、書写で学習したことを総合的な学習につなげていく過程が示されている。 ・言語能力の育成に関して第3学年の「実験したことを記録しよう」では、点画の書き方や文字の整え方に気を付けて、読みやすく実験記録を書く学習が設定されている。 ・児童の学習上の困難さに対して、第2学年の「点画の名前」では、手本の漢字の点画と、名前が添えられている点画が同じ色で示されている。また、点画を書く練習する欄が設けられており、「とん」「びたっ」「すうっ」などの言葉で鉛筆の動かし方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年の「組み立て方」では、「①見つけよう」「②確かめよう」「③生かそう」そして「ふり返って話そう」と学習の進め方が4段階で構成されている。 ・毛筆と硬筆との関連として、第6学年の「ひらがな」では、硬筆で「ありがとう」をなぞることで文字と文字のつながりを考えさせた後、毛筆でつながりを確かめながら書く学習の流れが設定されている。 ・運筆の能力の育成に関して、第6学年「毛筆で書いてみよう」では、イラストや写真、朱墨文字などを取り入れ、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。 ・各学年の配当時間に照らして適切な分量で硬筆と毛筆の学習が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA B版で、図版が大きく提示されている。また、第3学年以上では、6年間で学習する書写の内容一覧がインデックスとして設定されている。 ・「ゴシック体には、見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。
学校図書 みんなと学ぶ 小学校書写	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、各学年の最後の単元では、「〇学年のまとめ」として学習したことを復習するページが設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、第6学年のまとめでは、思い出や、印象に残ったことをいろいろなものを書く活動が示され、俳句や短歌、絵手紙などが例示されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」を涵養に関して、書写の学習で学んだことを日常生活に生かす具体例として、はがきや原稿用紙、手紙の書き方が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、第5学年の「感謝の気持ちを伝えよう」では、6年生への感謝を伝えるカードの作成が設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、大文字・小文字のローマ字表が提示されている。実際の写真を取り上げながら、名前や地名のローマ字での書き方が示されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、えんぴつや消しゴムが何の材料でどのように作られているのかが提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習で身に付けたことを他教科で生かした具体例が、各学年の巻末にある「書写の資料館」にまとめられている。 ・学校段階間の円滑な接続に関して、第6学年『行書』で書いてみよう』では、発展として中学校に入ったら学習する行書を紹介している。 ・児童の学習上の困難さに対して、第3学年「たて画とはらい」では、「木」を白抜き文字にして筆使いが示されているとともに、穂先の通り道が朱書きで書かれ、筆圧の強さが3段階の数字で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の配当時間に照らして適切な分量で硬筆と毛筆の学習が設定されている。 ・判型はB 5判で、二文字以上の毛筆教材はすべて半紙と同じ大きさで掲載されており、そのまま手本として活用できるよう設定されている。 ・毛筆と硬筆との関連として第3学年「画の長短と文字の中心に注意して書こう」では、毛筆で「山里」を画の長短と文字の中心に注意して書いたことが、次のページの「生かして書こう」のコーナーで硬筆学習につなげられている。 ・生活に役立つ観点から、各学年、巻後半に「書写の資料館」が設定されている。第6学年には、「都道府県を書こう」や「アルファベットとローマ字」等が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも「学習の進め方」が3ステップと振り返りという流れに統一されている。 ・「多くの人が使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやフォント、レイアウトなどに配慮して作成しました」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 書写 】 No.【2/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
教育出版 小学 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、第2学年以上に設定されている「学習のまとめ」では、絵や筆の写真などでこれまでの学習がまとめられている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、各学年に設定されている「レッツ・トライ」で、学習した知識・技能を活用して、書くことができる場面が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年の「書いて伝え合おう」では、思い出に残る言葉を書こうと提示され、作品例が複数示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、国際化の観点から、第4学年の「世界のこんにちは」では、外国語での「こんにちは」、「世界の文字文化」、「身の回りの外国語」が掲載されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、規範意識の観点から、ポスターを読む人にわかりやすく約束を守ってもらうように書くには、どのようなことに気を付ければよいかを3段階の作成手順で示されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第2学年では図書館の人の話をよく聞いてメモをし、カードにまとめる学習が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連として、第4学年では、学習内容がわかりやすい理科のノートのまとめ方として、書き方のひみつが3つ示されている。 ・言語能力の育成に関して、第6学年「レッツ・トライ」の「校外学習のリーフレット」では、用紙全体の大きさを考えて、読みやすいリーフレットを書く学習が設定されている。完成したリーフレットを提示し、読みやすくする工夫が示されているとともに、作成の流れが示されている。 ・児童の学習上の困難さに対して、第1学年「にているひらがな」では、「あ」と「め」で同じ運筆の部分が同じ色で示されているとともに、「とめ」や「はらい」を「ぴたっ」「すうっ」という言葉で明示された画を指でなぞることが提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判で、低学年は4つのステップ、中・高学年は7つのステップで学習の進め方が統一されている。表紙には、墨や汚れに強い撥水コーティングが施されている。 ・毛筆と硬筆との関連として毛筆のページに硬筆の学習スペースがある。ためし書きとまとめ書きのスペースがある。 ・生活に役立つ観点から、各学年に「レッツ・トライ」として、日常生活や他教科での活用場面を想定した例が提示されている。 ・各学年の配当時間に照らして適切な分量で硬筆と毛筆の学習が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」また、「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載されている。
光村 小学校書写	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、2学年以上に、大事なことがまとめて示されている『『たいせつ』のまとめ』が設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、各学年に、これまでに学習してきたことを確かめる「○学年のまとめ」というページが設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年の「自分だけの一文字」では、各分野で活躍している人物が選んだ一文字と、その理由が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、多文化共生の視点から、第5学年の「めざせ! 新聞記者」でアイヌ文化を紹介する新聞が提示され、多様性を認め合う工夫がされている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、責任感の観点から、東日本大震災の時に「正確な情報で行動を」と呼びかけた新聞社の取組が掲載されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第4学年では、将来の夢や願いを書く「ゆめに一步、近づこう」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成に関して第6学年では、学年、他教科や日常生活で生かせる言語活動例が配置されており、「書写ブック」としてまとめられている。その中の第6学年では、「ポスターを作る時の工夫」が設定されている。 ・学校段階間の円滑な接続に関して、第6学年「もっと知りたい『発展』」では、中学校で学習してきた楷書よりも速く書ける書き方として提示されている。 ・児童の学習上の困難さに対して、第1学年「かん字のかきかた」では、線の終わりに気を付けて指でなぞることが提示されている。書き順が色別で示され、「とめ」「はね」「はらい」の部分に「ぴたっ」「ぴょん」「すうっ」という言葉とキャラクターの動きが添えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年『『はらい』の方向』では、矢印の向きとキャラクターの体勢で方向を示した4つの「左はらい」の形が比べられている。 ・毛筆と硬筆との関連として第5学年の「めざせ!新聞記者」では、「筆」「筆ペン」「フェルトペン」「ボールペン」それぞれの筆跡が並べて表示されており、筆記具の特徴をふまえ、場面に合わせて使い分ける必要が示されている。 ・運筆の能力の育成に関して、第3学年「漢字の筆使い」では、筆圧の違いを数字や言葉で示したり、穂先の通り道を赤で表し、キャラクターの動きで表されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「タイトルや『たいせつ』には、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 書写 】 No.【3/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>日文 小学書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、第3～6学年に設定されている「学習を生かして」では、これまでの学習の要素を含んだ文字が教材として提示されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、第5学年の「自分の力で」では、「自分で題材を選び、積極的に取り組もう」が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年の卒業前の気持ち、五・七・五で表した作品例が3点掲載され、意見交換の場がイラストで表示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、第5学年の「原稿用紙の使い方」では、「共生するために」という題名の作文が掲載されている。 ・「たくましく生きる力」に関して、国際化の観点から、第6学年の「生活と書写」で解説文付きのエアメールの書き方とアルファベットの書き方について提示されている。 ・「社会とかかわる力」に関して、「提案文を書いて、話し合おう」では、防災意識を高めようというという題名のもと、自然災害に対して自分たちが出来ることを考える学習が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年「国語の広場」や「生活と図書」において、他教科での書く場面を想定した言語活動例が題材として提示されている。 ・言語能力の育成に関して第6学年「五・七・五で、自分の思いを表現しよう」では、「卒業」をテーマに一人ひとりが五・七・五の句を作り、その後クラス全体で意見交換をするまでの過程が提示されている。 ・学校段階間の円滑な接続に関して、第6学年「チャレンジ『行書』をなぞってみよう」では、与謝蕪村の俳句が楷書と行書で並べて例示され、なぞり書きができるようになっている。「行書」についての説明が提示されている。 ・第4学年「筆順と字形」では、整った字形にするために、直しが必要な「左右」の文字が提示されている。筆順には数字がふられ、同じ画には同じ色が示されているとともに、画と人の体との関係がイラストで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「自分の文字と向き合っ」では、自分の文字と手本の文字を比べることで自分の文字の課題を知り、今後の学習課題に生かしていく構成となっている。 ・運筆の能力の育成に関して、第2学年「点と画」では、運筆を人のイラストの動きで表したり、筆を止める場所を赤の点で表されている。 ・生活に役立てる観点から、各学年「生活と書写」というページが設定されている。 ・各学年の配当時間に照らして適切な分量で硬筆と毛筆の学習設定されている。 ・判型はB5判で、低学年は3ステップ、中・高学年は6ステップの「学習の進め方」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【社会】 No.【1/4】

発行者 教科書名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>東京書籍 新編 新しい社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第6条に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、「調べて、考えたい」ように工夫されており、「学習問題をつかむ・調べる・まとめる・いかす」を基本とした「問題解決的な学習」を分かりやすく進めていくことができるようになっている。 ・学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得し活用させる」ことに関連して、幅広い視野から社会的事象の成り立ちや意味を理解したり、自分の生活とのかかわりを考えたりする能力と態度を身につけられるよう、必要に応じて「ことば」欄を設けて学習や生活の基盤となる言葉を抽出し、説明文を付して提示して学習内容の確実な習得に役立つようにしている。また、巻末に学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けている。 ・学習指導要領の改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、伝統や文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができる教材を随所に取り上げ、国や郷土への愛着を深めることができるようになっている。また、我が国の代表的な文化遺産や身近な地域の歴史事象などを積極的に取り上げ、我が国と郷土の伝統や文化への理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養えるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、様々な意見を踏まえて社会的問題を考えることができるように配慮されている。例えば、児童が調べてきたことをもとに、異なる立場について理解を深め、考えていく活動を提示しており、他者を尊重し、多様性を認め合うことができるようになっている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、学習成果を活用した学習活動の場面を中心に、実生活や実社会との結びつきを意識させ、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度の基礎を養うとともに、社会へのかかわり方を選択・判断する活動が充実している。実社会に生きる人々の姿を多数掲載し、社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実際に話を聞いたりする活動を充実させることができるようになっている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、実社会で働く人々の姿に学ぶとともに、グループなどでそれぞれの意見を話し合う活動を積極的に提示することにより、児童が対話的な学びを進め、説明・議論したり、考察・構想したりすることを通して、学びを深めていくことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全教育への取り組みについての具体的例示 ・第3学年「くらしを守る」の単元での火災、事故及び事件について扱う中で「生活安全」「交通安全」について理解できるようになっている。 ・第4学年「自然災害からくらしを守る」の単元では、自助・共助・公助について考えることができるようになっている。 ・第5学年「自然災害を防ぐ」では、国や自治体の対策や事業などが理解できるようになっている。 ・第6学年「震災復興の願いを実現する政治」では、国や自治体の取り組みによって、復旧・復興が進められていることが理解できるようになっている。 ・伝統や文化に関する教育についての具体的な内容例示 ・第3学年では、市のような学習で「古くから残る建物」を多数取り上げ、地域に愛着をもてるようになっている。 ・第4学年では「きょう土の伝統・文化と先人たち」で県内の文化財や年中行事と、地域の発展に尽くした先人の働きを示している。 ・第5学年では、国土の学習の中で、琉球の文化やアイヌの人々の文化について取り上げている。 ・第6学年では「世界遺産」「国宝」マークを設け、我が国の優れた文化遺産への関心を高めることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成については、学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるよう単元を適切に構成・配列されている。また、単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）を併記して、問題解決的な学習の展開を促している。さらに具体的な事例を調べる前に、社会や国土全体の姿を概観することで、事例の学習に終わらせずに、事例を通して、社会や国土全体を理解することができるようになっている。 ・分量については、児童が主体的に学習できるように内容を重点化し、単元ごとに十分な学習活動を保証できるよう、適切な時数を配当している。 ・装丁については、表紙は強度の高い加工を施し、汚損しにくいように配慮されている。また、強力な接着剤と針金を用いた製本で、大きく紙面を開くことができるうえに堅牢なつくりとなっている。 ・折り込みの資料が入っている。 ・3年 150 ページ ・4年 182 ページ ・5年上 130 ページ ・5年下 146 ページ ・6年政治・国際編 118 ページ ・6年歴史編 162 ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・表記及び表現については、すべての児童が使いやすく理解しやすいようになっている。例えば、本文と資料をはっきりと区別できるようにレイアウトし、目立つ箇所は文章を枠囲みにしたり、文節で改行したりするなど、すべての児童に見やすく読みやすくなっている。また、教科書の一部にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用するとともに、小学生が読むことを考慮し、読みやすい大きさの文字にしている。さらに、写真や図表などの資料には、見開き単位で番号が付いており、児童が把握しやすいようになっている。 ・見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みが提示してある。 ・「時間」「空間」「相互関係」の三つの視点と方法でイラストを変え、どのような視点や方法かが明確にわかるようになっている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 社会 】 No.【2/4】

発行者 教科書名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>教育出版 小学社会</p>	<p>・教育基本法第1条の教育の目的及び同法第2条に掲げられた教育の目標に一致している。また、同法第5条第2項の義務教育の目的及び学校教育法第21条に掲げられた義務教育の目標並びに同法に定められた小学校の目的及び教育の目標に一致している。学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに準拠した、適切な事象・事例に基づいた教材が掲載されている。特に、社会の変化や今日的課題が反映された自称が積極的に教材化されているとともに、そうした変化や課題に自ら対応する資質・能力を育成するという視点から、問題解決的な学習となっている。</p> <p>・学習指導要領の改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、地域や国の伝統と文化にかかわる内容が各学年に位置付けられている。</p>	<p>・「思いやる力」に関連して、社会科の特質に応じた道徳教育の指導が効果的に行われることを意図して、地域や我が国の歴史や伝統と文化、多様な人々からなる社会の在り方について、多角的に理解や考えを深めていくことができるように編集されている。</p> <p>例えば、太平洋戦争における沖縄戦の歴史やアイヌの人たち歴史や文化の継承について取り上げており、他者を尊重し、多様性を認め合う力が養われるようになっている。</p> <p>・「社会とかかわる力」及び「たくましく生きる力」に関連して、社会の課題をとらえ、その課題の解決に向けて選択・判断したり構想したりしながら公民としての資質・能力を培い、社会参画に向けた意欲を高められるようにしている。</p> <p>例えば、実際に取り組みやすい「選択・判断」「構想」の活動を例示したり、社会に見られる課題から多角的に考える教材や伝統や文化を理解し、尊重する態度をはぐむ豊富な教材を掲載したりしている。学んだ事実を根拠にして自分なりの考えを表現しあう「選択・判断」や「構想」を具体化した場面には、「選択・判断」場面マークを付している。</p> <p>(例) 国際協力と日本の役割についての学習を踏まえて「持続可能な開発目標」の中から自分がこれから実行したいことを選択・判断して交流する学習(6年)</p>	<p>・第3学年・第4学年の巻頭に置かれた特設のコーナー「他教科とのかかわり」は、教科横断的に結ぶ社会科の特性を児童に意識づけている。</p> <p>・第3学年巻末の「わくわく！社会科ガイド」では、情報を集める方法の一つとして、インターネットや電子メールの利用を安全上の留意点とともに紹介している。</p> <p>・地域学習については、中学年では、地域副読本との併用を前提に、学習問題や学習計画の立て方、調べ方、まとめ方など学習活動の方法や手順、注意点について重点化し、「学びの手引き」や第3学年巻末を中心に、分かりやすく示してあり、地域での学び方が身につくようになっている。</p> <p>・領土に関する学習については、第5学年・第6学年で、学習指導要領に基づき、記載されている。北方領土と竹島の領土問題や、尖閣諸島をめぐる問題にかかわる解説や資料が掲載され、国土の範囲が重要であるとされる意味や問題の平和的な解決が日本にとって重要な課題であることなどが記載されている。</p>	<p>・各学年の単元の構成は、基本的に学習指導要領に準拠している。</p> <p>第3学年から第6学年までの全体を通して、資質・能力が系統的・発展的に培われるように配慮された内容・構成になっている。</p> <p>・単元構成は、前期・後期の二期制にも配分しやすく配列されている。</p> <p>・「主体的・対話的で深い学び」に関連して、小単元の末尾にある「まとめ」では、様々な考えを関係図などに整理し、それを見ながら対話的な学習を行うことを通して、再構成や定着が図られ、深い学びにつながるようになっている。</p> <p>第3学年は、生活科における既習をふり返るページを巻頭に設けるなど、社会科との接続が留意される内容とともに、生活科との相違を踏まえて、社会科の学び方、調べ方、資料の活用の仕方の基礎を身につけることが重視されるなど、系統的・発展的に構成されている。</p> <p>・年間の使用に耐えうる堅固な製本で、装丁にも汚れにくい加工が施されている。また、環境への配慮から、再生紙を用いて植物油インキとグリーン電力により印刷されている。</p> <p>・3年 174 ページ ・4年 216 ページ ・5年 254 ページ ・6年 278 ページ</p>	<p>・見開きを単位とした紙面は、本文と資料を明確に区分するなど、整理され、また、パターン化されたレイアウトでデザインされており、視認性が高まるようになっている。</p> <p>・資料のネームには、ア、イ、ウ…の記号が付され、どの資料に注目すればよいのかを簡潔に指示することができるようになっている。</p> <p>・1文が数行にわたる場合には、文節で改行が施されている。</p> <p>・ロービジョン(弱視)や読みに困難さがある学習障がいのある児童にも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」が本文で、また、そのほかにも用途に応じたユニバーサルデザインフォントが使用されている。さらに、中学年と高学年で書式を変えるなど、発達段階に応じて表現されている。</p> <p>・当該学年以上の配当漢字や固有名詞、社会科用語には、見開きごとに「ふりがな」を付すとともに、平易な文章表現や語句解説により、読解に負担がかからないようになっている。</p>

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 社会 】 No.【3/4】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>日本文教出版 小学社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第6条に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、問題解決的な学習の過程をわかりやすく示し、各所に交流場面を設定することにより、主体的・対話的で深い学びを実現できるようになっている。 ・学校教育法第30条第2項に示された「基礎的な知識及び技能の習得」、「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力の育成」、「主体的に学習に取り組む態度の育成」に関連して、生きて働く知識や技能の習得を目指して、子どもたちが、社会的な見方・考え方を働かせる手だてとなる「見方・考え方コーナー」を新設し、「空間」「時間」「関係」の三つの視点から考えることができるようになっている。 ・学習指導要領の改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国や郷土の伝統や文化を尊重する態度の育成を目指した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、今を取り巻く諸課題への取り組むことができるような教材が充実している。例えば、第4学年では多文化共生を目指すまちづくりを、第6学年では、障がいのある人の姿やユニバーサルデザイン、バリアフリー、少子高齢化に関する取り組みなどを取り上げて学習できるようになっている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、社会に見られる課題の解決に向けて、社会との関わり方を選択・判断する活動を具体的に示している。 (例) 第3学年「安全なくらしを守る人々の仕事」では、安全なくらしや命を守るために自分たちができることを、安全マップの発表会を通して考え、自分の考えをノートにまとめる活動ができるようになっている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、主権者として求められる資質や能力を社会との関わり方を選択・判断する活動の設定や現代的な諸課題を豊富に取り上げることで育成できるようになっている。 (例) 「人権・福祉」「防災・安全」「平和・国際理解」「伝統文化の尊重」「環境問題」「情報化の伸展」「健康・消費者」「持続可能な開発」 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが本気で学ぶ社会科を実現できるよう、学びの見通しを持つことができる教材を選定している。 ・これからの社会を担う子どもたちが、教科や校種の枠組みを越えて、現代的な諸課題に触れ、明るい未来を創造していくことができるように、少子高齢化や防災、情報化の進展、伝統・文化などの現代的な諸課題に対応していた内容となっている。 「伝統文化の尊重」 4年「諏訪っ子フェスティバル」(祭りの伝承) 5年「鶴岡市の『郷土食』」(日本の伝統的な食文化) 6年「茶の湯や生け花の体験」 「持続可能な開発」 6年の最終単元末で、持続可能な開発目標(SDGs)を取り上げ、これまでの学習を振り返りながら、自分にできることを考えることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年1冊の構成となっており、1年間の学習の見通しや単元を越えた振り返り活動を行いやすくなっている。教科横断的な視点での教科横断的なカリキュラム・マネジメントも行いやすくなっている。 ・1巻(合本)構成するために、本文用紙を現行本よりも軽い再生紙を採用している。 ・学習がスムーズに進むように、基本的に1時間1見開き構成になっている。 ・本文が「学習内容(知識)」、「学習活動(技能)」、「友だちの発言(思考力・判断力・表現力等)」の三つに分けられ、学習内容や学習方法がわかりやすく構成されている。 ・製本は通常の無線綴じよりも丈夫なあじろ綴じが採用され、従来の針金綴じよりも本が大きく開くように改良されている。 ・3年 160 ページ ・4年 198 ページ ・5年 282 ページ ・6年 278 ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に関しては、本文や各コーナーなどのデザインや表現をくふうし、誰でも読み取りやすく、わかりやすいようになっている。 ・グラフ・地図については、一人ひとりの色覚の違いを問わず、多くの子どもたちに見やすいように、色調や色の組み合わせだけの区別ではなく、斜線やドットなども使用している。 ・紙面レイアウトに関しては、資料の読み取りや、本文と資料を関連させながら読み取りがしやすいよう構成されている。また、中心資料は大きく配置されている。 ・漢字は原則として当該学年の配当漢字までが使用されている。当該学年以上の配当漢字やキーワード・固有名詞などの漢字には、最低限見開き2ページごとの初出にふりがながつけられ、読みの抵抗を少なくするようになっている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 社会 地図 】 No.【4/4】

発行者 教科書名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい地図帳	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法第2条の「伝統と文化を尊重し」に関連して、日本の歴史や伝統、文化に関する内容が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、世界の料理、オリンピックの開催地などの地図があり、多様性を認め合うような工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カリキュラムマネジメント」に関連して、歴史学習で活用できるように、世界の歴史地図が掲載されている。 「カリキュラムマネジメント」に関連して、世界地図ではほとんどの国名や大陸、海洋名の欧文表記があり、外国語で活用できる。 「主体的・対話的で深い学び」に関連して、索引にチェック欄が設けられており、積極的に活用できるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 丈夫な糸かがりで綴じていたり、折り込みページの折り目部分に破れ防止加工を施したりすることで、4年間の使用に耐えられるようにできている。 環境に配慮した再生紙・植物油インクを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の記号の分け方が細かく示されている。
帝国書院 楽しく学ぶ 小学生の地図帳	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法第2条に関連して、生涯にわたって地図帳を使いこなすための基礎力を育むように「地図帳の使い方」が12ページにわたって示されている。 教育基本法第2条に関連して、防災意識が高められるように、日本列島で起こった自然災害を学ぶページが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、男女平等の視点や、他者との協調を意識したキャラクターが登場してくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」に関連して、資料の活用方法等が記載されており、必要な地図帳活用のスキル、社会科の知識や見方、考え方が、3年生から身につくように工夫されている。 「主体的・対話的で深い学び」に関連して、学習テーマに沿った資料のページが多く、まわりの資料と関連づけることで、学習を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「広く見わたす地図」⇒「都道府県を見る地図」⇒「世界の地図」と配列され、発達段階に応じた学習を進めやすい。 主題図が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の色の使い分けが鮮明で見やすい。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【算数】 No.【1/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、知識や技能の定着の度合いを継続的に確認できるように、各単元末に「たしかめよう」が設定されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「今日の深い学び」や「算数マイノートを学習に生かそう」が設定され、課題解決の過程や説明の仕方等が掲載されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、学習の振り返りとして、学習の価値づけや、次の学びに向かうような発言をする児童のイラストが随所に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、第2学年以降の巻頭「学びのとびら」や、「今日の深い学び」では、他者の考えのよいところを認めるような場面が掲載されている。 「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、第5学年の「算数で読み解こう」では、日本を訪れる外国人の人数のデータが題材として設定されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第6学年の「データの調べ方」では、学習のしあげとして、データを整理して、自分たちの生活を見直す例が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年以降、各学年の巻頭にある「学びのとびら」に学習の進め方が書かれている。 第2学年以降の各単元末において「つないでいこう算数の目」のページを設け、当該単元で働かせる主たる数学的な見方・考え方を振り返るようにしている。 第2学年以降の「今日の深い学び」では、主体的に問題を捉え、対話を通して課題解決が図られるような活動例が設定されている（学年3か所、第2学年は1か所）。 【例：6年 p. 111 の複雑な図形の面積を求める活動】 学校間の円滑な接続に関して、第1学年ではスタートカリキュラムとして別冊が設けられ、児童が楽しく自信をもって学べるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「たしかめよう」が設けられている。また、巻末には、「ほじゅうのもんだい」と「おもしろもんだいにチャレンジ」が設定されている。 判型は、B5判（第1学年はA4判とB5判）で、題意1学年は①、②の分冊、第2～5学年は、上下巻の分冊である。第6学年は合冊である。 「視認性をいっそう高めた新開発のユニバーサルデザイン教科書体を使用しています。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物の写真を使用するなどして実生活との関連を意識しやすいようにしている。【4年上 p. 77 新幹線の写真や6年「およその面積と体積」の湖の写真など】
大日本図書 たのしい算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、第2学年以降の巻末に前学年までの既習事項をまとめた「〇学年までのまとめ」や補充問題「プラス・ワン」が設定されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、習得した見方・考え方をメモする「ひらめきアイテム集」が設けられ、その後の学習に活用できるよう構成されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、単元の導入では、学校行事や遊びなど、日常の生活場面から児童自身が課題や疑問を見出す題材が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、巻頭の「算数ナビ」などで、ほかの児童の考えの良いところを見つける学習方法が取り上げられ、多様性を認め合う場面が掲載されている。 「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、外国にルーツをもつキャラクターと一緒に学習する仲間として設定されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第1～3学年では、学習したことを家庭や生活にも生かすように促す「おうちでさんすう」が設けられている。また、第3学年以降では、気象予報士や建築家など、算数を生かした仕事に就いた人々を紹介するコーナーが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びとなるように、問題解決学習の流れを示した「算数まナビ」や、多様な解決方法を比較検討する活動「じっくり深く学び合う！」が設けられている。【6年 p. 92 など多数】 測定領域では実際の測定活動を豊富に取り入れ【2年 p. 83、3年 p. 161 など】、図形領域では実際に形を構成したり観察したりする活動を多く設けている。【3年 p. 101、4年 p. 240 など】 他教科との関連を考慮した題材が設定されている【5年 p. 178 社会科、6年 p. 74 社会科など】 全学年に「プログラミングにちょうせん！」が設定されている。【巻末】 「ふくろう先生になるほど算数教室」で、算数が社会で生かされている事例を適宜取り上げている。 「おうちで算数」で、学習したことを家庭での生活にも生かすよう促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「たしかめ問題」が設けられている。また、巻末には、「プラス・ワン」が設定されている。 判型は、B5判で、全学年とも合冊である。 「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」や「発見！」が分かりやすく表記されている。 「全面的にユニバーサルデザインフォントを使用している」とあり【内容解説資料】、文字が見やすい。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【算数】 No.【2/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
学校図書 みんなと学ぶ 小学校算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、単元末の「できるようになったこと」「まなびをいかそう」や巻末の「ほじゅう問題」で学習内容を振り返る問題が設けられている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、第2学年以降の巻頭の「3つの学びの力をそだてよう」では、3つの力の具体例が掲載されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、学習したことを生活や社会の中で生かしていく「生活にいかそう深めよう」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、第2学年以降の「3つの学び方で学習を進めよう」では、自分の考えと同じ点や、ほかの児童の考えの長所を考える場面が掲載されている。 「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、第4学年の「2けたでわるわり算」の学習では、外国のわり算のしかたが掲載されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第5学年の「生活にいかす 深めよう」では、学習のしあげとして、データ分析の学習として、二酸化炭素の排出量を考える題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年以降のすべての学年の巻頭で、算数科における見方・考え方をまとめ、適宜確認できるようにしている。 他教科との関連を考慮した題材が設定されている。【2年上 p.11 生活科、5年上 p.54 社会科、6年別冊 p.26 理科など】 地域性のある題材が設定されている。【3年下 p.36、4年上 p.57、5年上 p.54 など】 全学年に「プログラミングの〇」が設定されている。 「深めよう」やコラムなどでは、学んだことを生活場面に活用することで算数のよさが実感できるようになっている。【3年上 p.80、5年上 p.49、107、6年 p.159 など】 随所に用語の説明があり、「垂直」の「垂」と「直」、「平均」の「平」と「均」など漢字の意味も解説されている。【どちらも4年生の例】 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「できるようになったこと」が設けられている。また、巻末には、「ほじゅう問題」が設定されている。 判型は、A B判で第1～5学年は、上下巻の分冊である。第6学年は別冊がある。 「誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しました。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」や「まとめ」が分かりやすく表記されている。 紙面に比較的余白が多く、見やすい。
教育出版 小学算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、典型的な誤答に対して「考えるヒント」が示されたり、学年を越えて既習事項が確認できる「学びのマップ」が設けられたりしている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、他の児童のノートを参考にする「友だちのノートを見よう」や、学びを振り返る「なるほど！」が設定されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第4学年以降では、学んだことを生かして探究的に取り組める「広がる算数」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、「友だちのノートを見よう」では、児童同士のノートを見合う活動が設けられ、他者の考えのよさを認め合う場面が設定されている。 「たくましく生きる力」に関連して、情報化の観点から、第6学年の「広がる算数」では、並べ方と組み合わせの発展で、安全なパスワードを考える題材が設定されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第3学年のたし算・ひき算の問題では、牛乳パック回収のリサイクル活動について取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入のページが分かりやすく児童の意欲を引き出す内容になっている。 第1学年の長さ比べとかさ比べ、2年のたし算とひき算など、同じ考え方を使うものを1つの単元で扱っている。 第2学年以降、各学年の巻頭に「学習の進め方」が書かれている。 巻末の「学びの手引き」に繰り返し使える事柄（ものさしの使い方や学び方マップ、算数のミカタなど）がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「まとめ」が設けられている。また、巻末には、「ステップアップ算数」が設定されている。 判型は、B 5判で、第2～4学年は、上下巻の分冊である。第1、5、6学年は合冊である。 「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いたタッチのイラストを使い、児童が学習に集中できるよう配慮している。 学年が上がるにつれ問題に添えられた絵が写真になっていき、児童の発達段階に合わせて情報量を調節している。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【算数】 No.【3/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
啓林館 わくわく算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、第2学年以降の巻末には、単元ごとの基礎的事項を習熟度別に学習することができる「もっと練習」が設定されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、図や表、式などを中心に学習するページが設けられ、立式の根拠や操作の手順などを説明する活動が設定されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各単元末の「学びのまとめ」では、学習したことを振り返り、学びを生活などに生かそうとする題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、話し合いの場面では、自他の考えを比較し、異なる意見を尊重したり、類似点を見つけたりする活動が設定されている。 「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、第5、6学年の「みらいへのつばさ」では、日本の食料自給率や国際協力に関する題材が設定されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第6学年の「ひろがる算数」では、ピアニストなど様々な職業に就く人々にインタビューし、仕事と算数の関係について掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年以降、各学年の巻頭に「学習の進め方」が書かれている。 第1学年の長さ比とかさ比べ、2年のたし算とひき算など、同じ考え方を使うものを1つの単元で扱っている。 3年上「わり算」では、「わり算を使った問題」でやや難易度が高く思考を促す問題が設定されている。【p. 29】 他教科との関連を配慮した題材が設定されている。【3年上 p. 61 社会科、5年 p. 200 社会科など】 随所にある「やってみよう」で自主的に取り組める数学的活動のアイデアを紹介している。 第2学年以降、単元末「ふりかえろう」で児童の振り返り例が載っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「学年のまとめ」が設けられている。また、巻末には、「もっと練習」が設定されている。 判型は、B5判で、第2～4学年は、上下巻の分冊である。第1、5、6学年は合冊である。 「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵が適度な量であり、紙面が見やすい。
日文 小学算数	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、単元末の「分かっているかな？」では、学習内容の確実な定着が図れるよう間違えやすい問題が設定されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「算数ノートをつくろう」が設けられ、考えの過程や他者の考えなどを記述したノートが掲載されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、「ハロー！さんすう」「ハロー！算数」「Hello! Math」では、学んだことを生かそうとする題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、各学年とも、「自分で みんなで」の中に「学び合おう」が設けられ、他者の多様な考えを認め合う場面が設定されている。 「たくましく生きる力」に関連して、国際化の観点から、第6学年の「場合の数」では、5か国の子どもたちが手をつなぐときの並び方を考える題材が設定されている。 「社会とかかわる力」に関連して、第3学年の「たし算やひき算」では、牛乳パックや空き缶を回収するリサイクル活動が題材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭と巻末に学習の進め方が書かれている（第1学年は下巻の巻頭）。 主体的・対話的で深い学びとなるように、児童が考え、話し合い、答えを導きだすまでの学習展開が示された「自分で みんなで」が設定されている。 随所にある「なるほど算数」で算数への関心を高めるいろいろな話を紹介している。 他教科との関連を配慮した題材が設定されている。【4年上 p. 40 理科、5年下 p. 101 社会科など】 	<ul style="list-style-type: none"> 補充や発展問題として、単元末に「たしかめポイント」が設けられている。また、巻末には、「算数マイトライ」が設定されている。 判型は、B5判で、第1～5学年は、上下巻の分冊である。第6学年は合冊である。 「カラーユニバーサルデザインに配慮しています。」と記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入のページで、その単元で考えさせたい問いを端的に表現している。 目次が見やすい。 写真や絵が適度な量であり、紙面が見やすい。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【理科】 No.【1/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい理科	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、学習の前と後で自分がどのように変わったかがわかるコーナーとして、「学ぶ前の私」「学んだ後の私」が設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、単元内に「理科のミカタ」というコーナーを設け、学習の場面で働かせる理科の見方・考え方が具体的に例示されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、「まとめ」の後に「次の問題を見つけよう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、生命尊重や環境保全に関する場面では、「かんきょうマーク」が表示されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、第6学年の「学びを生かして深めよう」では、SDGsが取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第6学年の「あんなところに理科！こんなところにも理科！」では、職業とのつながりについて掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなるように、「レベルアップ理科の力」では、他の児童の考えに触れ、自分の考えを見直しながら学習を深めていく対話の例が示され、実際に対話を行う際にヒントやきっかけとなるよう工夫されている。 ・伝統文化に関して、第5学年では、「夕焼け空は明日晴れ」という日本の昔から伝わることわざが取り上げられている。 ・情報活用に関して、第6学年では、「電気と私たちの暮らし」の単元の中で、「プログラミングをやってみよう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「オモテ面」で自分で考えた後、ページをめくった「ウラ面」で、対話を通して思考を広げ、深めるという構成になっている。 ・各単元の冒頭の「レッツスタート！」ではこれから学ぶ内容が示されている。また、問題解決のプロセスが紙面の端に「学びのライン」として示されている。 ・児童の学習上の困難さへの対応に関して、巻末にこれまで学習した器具等の使い方が順序立てて示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。また、第6学年では、巻末に人体模型の工作の付録がある。 ・判型はA4であり、写真、図、文章等が大きく記載されている。各単元の導入のページでは、本文のすべての漢字にルビが施されている。 ・言語能力の育成に関して、題材の冒頭に、対話を通して思考を広げたり深めたりしていく様子がイラストや写真で例示されている。
大日本図書 たのしい理科	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、学習問題について「わかったこと」や「結論」に、内容の説明と結論とが区別して示されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、問題解決のプロセスの中で、各学年で重点をおいて育成すべき問題解決の力が★マークを使って示されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、単元末に学習した内容と身近な生活とのかかわりを考える「学んだことを生かそう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、第6学年の「生物と地球環境」など、持続可能な社会に関連する場面では「ESD」マークが表示されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、英語マークを活用し、海外や地球規模の情報・資料など国際理解を深める内容が取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、各学年の「理科のたまてばこ」では、「理科としごと」マークが設定されており、理科に関係する職業の話題が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなるように、問題解決の場面では、他の児童の考えに触れ、自分の考えを見直しながら学習を深めていく対話の例が示されている。 ・伝統文化に関して、「伝統マーク」が設定されている。第6学年では、「理科のたまてばこ」で昔からの鉄づくりが取り上げられている。 ・情報活用に関して、第6学年では、「私たちの生活と電気」の単元の中で、「プログラミングを体験してみよう！」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、冒頭の「理科の学び方」では、問題解決のプロセスが示されている。また、ページの上端に問題解決のプロセスが色分けして示されている。 ・表紙の裏に見開きの大きな写真を掲載し、理科に対する興味が高まる工夫がされている。 ・環境を取り扱うページでは、間伐材を加工した和紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。第5学年では「災害に備えようブック」など、各学年の巻末に学習内容に応じた付録がある。 ・「問題」や「わかったこと」「結論」部分等は、それぞれ色が塗られている。写真や図版は角丸で切られている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【理科】 No.【2/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
学校図書 みんなと学ぶ 小学校理科	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、学びを振り返り、自分の成長をわかるよう、単元の冒頭の「調べていこう」、単元末の「できるようになった」が設定されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「問題を見つける」「計画を立てる」「学びをつなげる」などのマークを使って示され、視覚的な工夫がされている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、生命尊重などを意識した箇所にはハートマークが示されるなど、生命を大切にすることを育むよう配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、各学年で自然保護や生物愛護等に関する場面では、マークが表示され、自然を愛する心情を育む配慮がされている。 「たくましく生きる力」に関連して、第6学年の「やってみよう！持続可能な社会をつくるために」では、自分たちの行動に取り入れたい工夫が例示されている。 「社会とかかわる力」に関連して、各学年の「科学者の伝記を読もう」では、科学者の写真や偉業が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻末に、「伝える・聞く」のページが設けられており、問題解決を進める中で、予想したことや考えを伝えたり、聞いたりする例が示されている。図などを使った伝え合いの例が取り上げられている。 第6学年では、「電気と私たちの生活」の単元の中で、LEDを点滅させるプログラムについて例示されている。QRコードで専用ソフトがインストールできる。 オリンピックの聖火の点火方法を取り上げ、オリンピックへの関心を高められるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がページの端にバーで示され、児童が自分で確認できるようチェック欄が設けられている。観察、実験の結果からわかったことと解説が分けて示されており、構成が工夫されている。 巻頭の「科学の芽を育てよう」では、各学年で主に育成を目指す問題解決の力が色付きで示されている。各ページの下には、問題解決の場面がマークで示されている。 巻末の実験器具の扱い方では、スモールステップに分け、児童が自分で確認できるようチェック欄が設けられている。各学年の巻末の「理科室の使い方」では、発達の段階に応じた内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページを開かなくても1年間の学習内容が見通せるよう、裏表紙に目次が設けられている。また、裏表紙には長さをはかるためのものさしが設けられているなど工夫がある。各単元の最初のページには、紙面の端に全学年の巻末の「考えよう調べよう」では、理科の学習で大切な事柄についてインデックスとともに示されている。 単元の導入ページでは、見開き一枚の大きな写真が掲載されている。単元名や大事な言葉は、フォントを変えたり太字にしたりして示されている。
教育出版 みらいをひらく 小学校理科	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、学習問題について、学習した基本的な知識が「結論」として色付き枠で示されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、比較により違いを見出し、問題を設定できるような教員の発問や、それに対する児童の考えが例示されている。 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、単元末に、日常生活と学習内容を関連させる「広がる学び」や「科学のまど」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、飼育や栽培を扱う場面には、「地球となかよしマーク」を表示されている。第6学年の巻末には「かんきょうミニずかん」が設けられており、学びの広がりにも配慮されている。 「たくましく生きる力」に関連して、第6学年巻末の「科学の研究者たち」では、世界の科学者とその偉業が紹介されている。 「社会とかかわる力」に関連して、各学年の「資料」では、理科に関係する職業の話題が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年では、「予想しよう計画しよう」で、気づいたことの話合いの様子が例示されている。 第6学年では、「電気の利用」の単元の中で、「プログラムを作成して、コンピュータに命令をだしてみよう」が設けられている。Scratchを用いて、ミニ信号機の動作を制御する例が示されている。 教科書の内容と関連のあるコンテンツを集めたウェブサイト「まなびリンク」を開設し、教科書に「まなびリンク」マークやアドレス（QRコード等）を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、巻頭「学習の進め方」が設けられており、問題解決の順序が示されている。また、「ノートを取り方」では、「学習の進め方」に対応した例示がされていて、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 それぞれの単元の中で、各学年で主に育成を目指す問題解決の力について、第3学年は「見つけよう」、第4学年は「予想しよう」、第5学年は「計画しよう」、第6学年は「結果から考えよう」で、児童と先生のキャラクターが対話を通して例示している。 観察、実験に使う器具や薬品の使い方、注意点等が、児童の発達の段階に応じた内容で、それぞれの単元内に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、裏表紙に「安全の手引き」が記載されている。「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載されている。各学年とも、裏表紙に「安全の手引き」が記載されている。目次の単元の番号が、領域ごとに色分けされている。第3学年では、巻末に「生き物ミニずかん」として、図鑑と観察で用いる定規の付録などの工夫がある。 「問題」や「結論」の部分は、それぞれ色が塗られ強調されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【理科】 No.【3/3】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
啓林館 わくわく理科	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、単元末の「まとめノート」の例示を通して学習を振り返る場面が設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力」の育成に関して、問題解決の過程の問題発見の場面、予想や計画の場面、考察の場面では、話し合い活動が設けられている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、単元末に「もっと知りたい」や「活用しよう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、「理科の広場」では、ESDの視点から持続可能な社会を作ることについて考える内容が掲載されている。 ・「たくましく生きる力」に関して、各学年の巻末には、ICT機器を活用した調べ方や利用場面が紹介されている。 ・「社会とかかわる力」に関して、第4～5学年では、「くらしページ」が設けられ、くらしと防災や自然からの恵みについて掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなるように、問題解決のプロセスの中で、児童のキャラクターによる対話を通して学んでいく様子が例示されている。 ・伝統文化に関して、自然や人々の生活に関する昔からの知恵や工夫の紹介が取り上げられている。第6学年では、地震を語り継ぐ「稲村の火」が掲載されている。 ・情報教育に関して、第6学年では、「プログラミングを体験しよう」が設けられている。巻末のプログラミング用シートとシールを使った学習例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、巻末に「算数のまど」が設けられ、算数科との関連が示されている。 ・各学年とも、巻頭の「自然の不思議さを、とき明かそう！」で、問題解決のプロセスや、教科書で使われているマークについての説明が示されている。 ・各学年とも、巻末の「理科の考え方をはたらかせよう」では、科学者の具体例を交えながら、その学年で主に育てたい問題解決の力が示されている。 ・器具の使い方などの動画コンテンツがQRコードを読み取ることで視聴できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校マークや他教科関連マークが設定されている。 ・「p注意」を表すマークとして、「かん気」や「強い光」など数種類の具体的なマークが設けられている。 ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載されている。また、第3学年と第5学年の巻末には、取り外して野外で使える付録がある。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【生活】 No.【1/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>東京書籍 どきどき わくわく あたらしいせいかつ (上) あしたへ ジャンプ 新しい生活 (下)</p>	<p>・「知識・技能」の習得に関して、「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」などに、安全・暮らし・健康、挨拶、気持ちの伝え方、道具の使い方など、学習に即した習慣や技能を身に着けられるように多様な資料が掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、活動のめあてが「?～かな」などの問いかけで始まる文が多数あり、子どもたちの考える場が示されている。</p> <p>「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、ものや人と関わる中で、感じたことや発見したことを大切にしてい、これからの生活に見通しを持つ題材「やってみよう」が提示されている。</p>	<p>・「思いやる力」に関連して、イラストの中に外国につながるのある子や体の不自由な子が一緒に学び合う姿や高齢者の方との触れ合う姿を掲載して、他人を思いやり多様性を認め合う姿が掲載されている。</p> <p>・「たくましく生きる力」に関連して、社会の一員として誰とでも仲良く生活できるよう「かつどうべんりてちょう」に挨拶の仕方や気持ちの伝え方など具体例がイラストとともに示されている。</p> <p>・「社会とのかかわる力」に関連して、公共施設の探検から地域の探検に広げていき、そこで働く人と触れ合う活動事例が取り上げられている。</p>	<p>・スタートカリキュラムでは、幼児期に育った力を生かし、生活科を中心とした合科的指導を行い各教科へつなげることが意識されている。</p> <p>・他教科との関連的指導が行える活動例が掲載されている。また、中学年への見通しを持てるよう社会や理科、総合的な学習の時間への繋がりが見えるようにしている。</p> <p>・キャラクターが、思考を促したり、活動のきっかけを与えたりする視点を与えている。</p> <p>・上巻では、個の気づきや願い・思いなどがつぶやきの例示として示されている。下巻では、学びを深める場面で、友だちとの対話の中で解決していく場が例示されている。</p>	<p>・季節の流れを軸にして、時系列で単元が配列・構成されている。</p> <p>・めくりながら植物の生長が分かる変形ページを入れている。</p> <p>・上巻末に屋外での活動に使える「ほんとうのおおきさポケット図鑑」がある。(取り外し可)</p> <p>・判型はA4判で「カラーバリエーションを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。</p>	<p>・イラストが落ち着いた淡い色合いで統一されている。見せたい部分を写真にして、浮きたつようにしている。</p> <p>・小单元名やマーク、記録カード、「やくそく」など各要素の位置が固定されている。</p> <p>・「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。</p>
<p>大日本図書 たのしいせいかつ 上 なかよし たのしいせいかつ 下 はっけん</p>	<p>・「知識・技能」の習得に関して、巻末の「がくしゅうどうぐばこ」には豊富な資料を掲載し、活動しているときにすぐに活用できるような基本的な知識や技能を取り上げ楽しみながら学べるようにしている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、子どものイラストの会話に投げかけや気づきにつながる言葉が使われている。</p> <p>・「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、単元の終末ページにイラストと吹き出しで、生活に生かそうとする姿を取り上げている。</p>	<p>・「思いやる力」に関連して、うさぎやモルモットなどの小動物を飼育する中で直接接触する、えさやりをする、掃除をするなどの活動を通して命のあたたかさを感じ取ることができるような内容になっている。</p> <p>・「たくましく生きる力」に関連して、下巻末「がくしゅうどうぐばこ」の中にある「せかいのなかま」の項目では世界の子どもの姿や挨拶の具体例、なかよしクッキングでは、栽培した野菜などの調理例などを紹介している。</p> <p>・「社会とのかかわる力」に関連して、まちたんけんの中で、いろいろな仕事をしている人に気付くことから始まり、その働く人との交流、取材、まとめ、発表という一連の活動を通して地域の人と積極的に関わろうとする内容になっている。</p>	<p>・スタートカリキュラムでは、幼稚園や保育園で慣れ親しんだ遊びを通して仲間づくりが進められるようにしている。</p> <p>・活動内容に関する言葉が「せいかつのことば」や「きらきらことば」に紹介されており、語彙を増やすための手立てや友だちとの交流を深める手立てとして位置付けられている。</p> <p>・キャラクターが、活動を促すヒントや活動に際しての注意点・安全やマナーについての投げかけを行っている。</p> <p>・モノクロの写真や接写した写真を使って子どものイメージを膨らませる手立てがとられている。</p>	<p>・季節の流れに沿った大単元構成で、季節と活動を結び付けている。</p> <p>・透明シートを使った夜と昼の比較や探検ライト、探検カメラなどの仕掛けが用意されている。</p> <p>・各見開きのページの左側に赤い風船マークがあり、活動課題を具体的に提示して、見通しを持って学習を進められるように構成されている。</p> <p>・A B判である。</p>	<p>・見開きで写真を掲載しており、色遣いもはっきりしている。</p> <p>・「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。</p>

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【生活】 No.【2/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
学校図書 みんなとまなぶしょう がっこう せいかつ 上 みんなとまなぶしょう がっこう せいかつ 下	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、多様な学習活動を掲載している。また、児童のワークシートなどの記録例も掲載しており、巻末の「まなびかたずかん」と併せて読むことができるようになっている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「わたしのあさがお」や「作ってあそぼう うごくおもちゃ」などの単元で、キャラクターが思考を促すつぶやきをして、児童に考えさせる活動を例示している。 ・「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、大単元の最後には、それまでに書き綴った記録カードを振り返り、自分たちがこれからやってみたいことや思ったことを出し合い考える題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、体の不自由な人、高齢者、身近な幼児など、多様な人々との関わりを写真で掲載している。 ・「たくましく生きる力」に関連して、挿絵や写真の中に外国の人が登場したり、外国語と日本語がともに示されている看板を掲載したり、異文化にふれる内容を設定している。 ・「社会とのかかわる力」に関連して、地域探検で町のすてき探しから公共施設や地域の店に目を向け、その後そこで働く人々と関わる活動に向けるという2段階を踏む構成にして取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が活動を通して気づいたことや思いを、カードや作文、手紙、劇化などの様々な方法で表現するようになっている。 ・導入ページが、「がっこうだいすき」として、学校生活にスムーズに適應できるようにイラストと短い文で構成されている。 ・巻末の「まなびかたずかん」は、上下巻で2年間を見通し、意識して活動に取り組めるようになっている。 ・植物や昆虫の名前が絵や写真と共に掲載され、発見したものを自分たちで調べることができるようになっている。 ・4人の児童が話し合う言葉から対話の仕方が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録例が、児童の発達段階を考慮したものになっている。どのように書けばよいのかわかりやすく示されている。 ・本文の見出しやカードの位置が同じように配置されている。 ・「探検」「栽培・飼育」「遊び」「成長」の4つの大単元に構成されている。 ・A4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めには見開きのページを使って大きな写真を提示し、活動への興味が持てるようにしている。 ・「色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました。」と記載されている。
教育出版 みんな なかよし 上 なかよし ひろがれ 下	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、単元ごとのコラム「やくそく」や、巻末の「学びのポケット」で、「生活上必要な技能」が取り上げられている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童と同じ目線で一緒に学習するキャラクターが設定され、考える働きかけがされている。 ・「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、自分ができるようになったことなどを書くことで、自信を持ってこれからの学びに向かうための活動例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、図書館の探検やわたしたちのまちのくふうで、まちの中のバリアフリーを写真やイラストで取り上げている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、発達段階に応じ、パソコンやタブレットなどのICT機器を活用した学習活動が取り上げられ、具体的な写真も掲載されている。 ・「社会とのかかわる力」に関連して、町で働く人がなぜ笑顔なのかを調べるために、インタビューしたり仕事にチャレンジしたりする活動を単元化し、取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ生活科の教科目標が説明されている。 ・他教科との関連として、「コラムはってん」の「社会科へのまど」「理科へのまど」で、生活科の学びの中学年以降へのつながりを示している。 ・スタートカリキュラムで、幼稚園で身に付けた資質・能力を小学校で発揮する姿が紹介されている。 ・虫探しの単元で手洗い、気をつけることの記載がされている。写真を掲載するなど、安全に配慮がなされている。 ・単元最後に、「おもちゃの作り方図かん」や「生き物の育て方図かん」など、必要に応じて資料が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の流れを軸にして、時系列で単元が配列・構成されている。 ・「まんぞくはしご」で自分の学習の振り返りを行うことができる構成になっている。 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」と記載されている。 ・A B判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色遣いははっきりしている。また、多様な写真が使われており、適切な大きさである。 ・「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォオンを使用しています。」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【生活】 No.【3/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
光村図書 あたらしい まいにち 上 だいすき みつけた 下	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、着目・考えさせたいポイントが、ページの下や横に、「どうすれば」というコーナーとして取り上げている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、習得した「知識・技能」を発展させる投げかけが随所にあり、巻末の「ひろがるせいかつてじん」にもまとめて取り上げてある。 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、シールを用いて1年間でできるようになったこと振り返り、今後の自分にできることを探す題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、自分のできるようになったことを振り返り、友だちにも目を向け、お互いの良さを伝えられるような内容になっている。 「たくましく生きる力」に関連して、地域の公共施設や店、そこで活動する人とのふれあいを通して、地域への親しみや愛着がもてるような活動が設定されている。 「社会とのかかわる力」に関連して、自然と関わる体験活動への意欲を高めるため、上・下巻「きせつのおくりもの」で、定位置の季節の写真などで四季の変化を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「ひろがるせいかつてん」が設けられており、他教科との関連が図られている。 児童が小学校生活を安心して始められるよう、入学当初の活動をイラストや身近な写真で示されている。 毎日の生活に対して、児童のワクワクする気持ちと期待感が引き出せるようにしている。 単元の中のどこを学習しているのかが把握できるように、ポップ・ステップ・ジャンプの3段階構成になっている。また、児童が見通しを持てるような活動例を紹介している。 児童が日常使う言葉で吹き出しが書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きせつのおくりもの」、QRコード記載があり、季節の昆虫や植物を見られるようになっている。 振り返りのシール欄があり、年間を振り返ることができる構成になっている。 A B判である。 春夏秋冬を比較できるように、同じ構成の絵を用いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 柔らかい色遣いであり、イラストが多く使われている。 「児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。」と記載されている。
啓林館 わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の習得に関して、「がくしゅうずかん」で調べ方・記録のしかたなど学習の仕方のアドバイスが示されている。また、日常生活に必要な情報が取り上げられている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、単元の中で児童の思いや願いから、毎時間の繋がりを意識して指導計画が例示されている。 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、単元末で学習の振り返りを促す欄が設けられている。また、学習を通して学んだことをより深めたり生活に生かそうとしたりする姿を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、イラストで車いすを使用する児童が登場し、ともに活動している様子が紹介されている。 「たくましく生きる力」に関連して、児童の異文化への興味関心が高まるよう、多様な言語のあいさつなどが掲載されて、国際化につながるよう意識されている。 「社会とのかかわる力」に関連して、地域の働く人と触れ合ったりインタビューをしたりしながら、働く人に親しみや愛着が持てるような活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わくわくぼっくす」では、児童の興味を持てるように問いを工夫している。 上巻「すたあと ぶっく」では、就学前の写真があり、小学校との関連を図っている。また、小学校がどのようなところであるか写真を中心に紹介している。下巻「ステップブック」では、できるようになったことを振り返って自信を持って進級するようしたり、中学年以降の教科への繋がりを示したりしている。 吹き出しが多く使われ、キャラクターが気づきの促しや疑問の投げかけ、安全上の留意点などを示している。 「めくり言葉」は、気づきや活動の思い、願いを児童の言葉で記し、次の活動ヒントになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードを用いて、学習内容についてさらに詳しく調べることができるようになっている。 「すたあと ぶっく」の角が丸みを帯びている。 「個人の特性にかかわらず、誰もが内容の判別がしやすい配色になっている。また、色だけでなく文字情報を添えるなど、ユニバーサルデザインに配慮しています。」と記載されている。 A B判である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の初めには見開きのページを使って大きな写真を提示してあるのと同時に、活動への見通しを持てるような小さな写真も掲載されている。 「小単元名」「本文」「カード例」などの位置は原則固定されている。 「誰もが識字しやすいように、読みやすく開発されたユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【生活】 No.【4/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>日本文教出版 わたしと せいかつ 上 みんな なかよし</p> <p>わたしと せいかつ 下 ふれあい だいすき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、巻末の「ちえとわざのたからばこ」では学び方や自然や生活の中で使える知識や知恵、技について知ることができるようになっている。見開きページの右端に関連する知識を習得できるようページが記載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、植物の生長が見えるしかけにより、植物を比べながら考えることができるようになっている。 ・「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、「ふりかえる つなげる」で学んだことを生活に活かしたり発展させたりするための投げかけがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、街の工夫として体の不自由な人の生活に目を向けた写真やイラストを掲載することで、子どもたちの意識や関心を引き付けるようにしている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、育てた野菜をおいしく食べるための調理方法や大豆を使った料理の紹介では、いろいろな地域の郷土食などを紹介している。 ・「社会とのかかわる力」に関連して、地域の公共施設に出かけたり働く人に取材したりする場面が設定されている。さらに調べたことを地域の人に発表している活動を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いちねんせいになったら」では、たくさんの写真で小学校とはどのようなところかを紹介している。また、2年生の最初にも「2年生が はじまるよ」のスタートカリキュラムを設定し、新1年生との交流を位置付けている。 ・注意することを側欄の右上に示し、学習の中でイラストによって確認できるようにしている。 ・親しみやすいキャラクターが留意点や思考を促すヒント・学習のポイントを示している。 ・1年間を見通した教室掲示の仕方が例として記載されている。 ・遊びや植物、昆虫などの単元を中心に「ポケットずかん」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きれいなはなをさかせたい」では、教科書を山折りすることで、植物の生長を段階的に見たり、他の植物との違いを比べたりできるようにしている。 ・春夏秋冬を比較できるように、同じ構成の絵を用いている。 ・「いちねんせいになったら」では、ページが丸みを帯びている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。 ・写真の下に短い文を入れ、何を示しているものなのかを明確にしている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【音楽】 No.【1/1】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
教育芸術社 小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮に関して、単元の中の題材を行き来しながら、知識・技能を修得できる構成になっている。 ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、子どもたちの気づきから対話を促し、試行錯誤して表現や鑑賞に繋ぐことができる構成となっている。 ・「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮に関しては、世界で活躍する人の言葉や写真に触れ、人と音楽と社会の関係性について考える題材が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる心」を育むために、各単元において鑑賞と表現を結び付ける単元構成になっている。 ・「たくましく生きる力」を育むために、古くから大切にされてきた伝統文化や音楽・地域の祭り等を紹介し、それぞれのよさを生かして、よりよいものを求めて社会と積極的に関わろうとする姿勢を育てるものになっている。 ・「社会とかかわる力」を高めるために言葉での交流が演奏表現へとつながるような、仲間との音楽づくりを行うモデルが紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった学習ができるよう、巻頭に掲載された「音楽の木」によって、学習活動の系統性が内容ごとに示されている。 ・言語活動に関して板書例とともに学習内容が示されている。表現や鑑賞の題材には、児童がきづいたことや感じたことを記入する欄が設けられている。 ・日本の伝統芸能や、和楽器・わらべうた等について、文化的背景や歌詞の意味が説明されている。また、児童の興味関心という視点から、活躍している人物に焦点が当てられている。 ・主体的で対話的な学びの観点から、各題材で考える観点が吹き出しで例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現・鑑賞ともに、紙面右下に音楽の要素が示されている。 ・一つの単元の中で、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞がそれぞれ関連し合い、系統的に学習が行えるよう構成されている。 ・版型はA4版で、学習目標が左上に掲載される形で統一され、他の文字よりも大きく表示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育や色覚特性の多様性等、ユニバーサルデザインの観点から、白を基調とした紙面や情報の配置に配慮している。 ・写真やイラスト上の文字・絵譜については、デザイン性を考慮しつつ、見易さにも配慮している。
教育出版 小学音楽 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮に関して、一つの題材を終えるごとにステップアップしていける単元計画が成されている。 ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、多彩な資料から自分たちで考え、よりよい音楽を作ろうとする姿勢を育むような活動が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮に関しては、世界で活躍する人の言葉や写真に触れ、個性を尊重した表現のよさについて学ぶ機会が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる心」を育むために、様々な人々との共生について理解を深める観点から、パラリンアートを掲載している。 ・「たくましく生きる力」を育むために、友だちとの協働活動を通して、共感したり音楽を楽しんだりする題材が設定されている。 ・「社会とかかわる力」を高めるために、わらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子などを紹介し、伝統や文化、社会や郷土を尊重する心を育むように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びあう音楽」の項目では、仲間と表現の工夫を深められるよう、学習の手順や、話し合うテーマが例示されている。 ・言語活動に関して「音楽のもと」「音楽を表すいろいろな言葉」では、表現や鑑賞の学習に活用するための「音楽の要素」に関する用語がまとめられている。 ・日本の伝統音楽への関心について「にっぽんのうた みんなのうた」として、共通教材や四季の歌等取り上げている。また、Short Time learning の中で外国語の歌にも触れる機会を設け、教科横断的な学習が行える。 ・情報活用に関して、調べ学習の際に図書館やインターネット（まなびリンク）の活用を推奨し、ルールやマナーについても注意喚起している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要部分と選択可能なオプション部分により構成されている。またその割合が明確に設定されている。 ・一つの単元の中で歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりと関連し、系統立てて活動するよう構成されている。 ・1・2学年はAB版、3学年以降はA4版と区別するとともに、2学年ずつの内容のまとまりをもたせ、就学前や中学校の学習との関連を持たせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの観点から、色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、UDフォントを使用している。 ・一つの題材を歌詞と楽譜とで紙面を分けて表示し、楽譜は大きく見やすく、写真やイラスト等も折込を使って配置している。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 図画工作 】 No.【1/2】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
開隆堂出版 ずがこうさく	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領における児童に育成したい資質や能力を、授業の中心的な三つの目標（めあて）として、キャラクターを用いて整理している。 ・各題材では、題材の三つの目標を掲げ、その中の一つを中心的な目標として示している。 ・「知識・技能」の習得に関して、「くふうさん」というキャラクターの言葉で、形や色、方法や材料を知って工夫することができるように示している。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「ひらめきさん」というキャラクターの言葉で、試したり見つけたりしながら考えることができるようにしている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、「こころさん」というキャラクターによる言葉で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、第1・2学年上「こころのはなをさかせよう」では、6年生への感謝の思いや、入学してくる新1年生への歓迎の思いを表す題材が設定されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第5・6学年上下「つながる造形」では、技術の発達と表現の広がりや、将来の自分を想像する活動が示されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第5・6学年下「学校へようこそ」では、学校へ来る人を楽しませるような造形遊びが設定されている。 ・互いの作品を見合うなど、自他の違いを認めたり、その違いを共感的に受け止めたりできる相互理解の場が取り入れられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、児童作品の飾り方や展示の工夫が紹介され、話し合いによって作品を飾ったり、相談しながら制作したりする活動が取り入れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実に関して、第1・2学年上の「まなびのしりょう『じぶんのさくひんにだいめいをつけよう』」では、作品に込めた思いを友達に伝える活動を設定している。 ・第3・4学年上「へん身だんボール」では、つくったものを身に付けて全身を動かす題材が設定され、作りだした作品で楽しむ活動につなげている。 ・情報活用能力の育成に関して、第5・6学年上「Myキャラが動き出す」では、オリジナルキャラクターを作り、情報機器を扱って動画をつくる題材が掲載されている。 ・各学年とも「みんなのギャラリー」のコーナーを設定しており、我が国の伝統的な文化や伝統行事などでみられる作品、工芸作品が掲載されている。 ・「合わせて学ぼう」として、他教科と関連して学習できることを示している。3～6年生には、英単語を掲載し、QRコードで、発音を聞くことができる。 ・各学年に「ひらめきコーナー」を設け、気軽に表現することの楽しさに気付かせ、総合的な学習の時間や特別活動などの他教科での場面でも自由に活用できる内容にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、作品や活動の情景などを大きく掲載し、よさや美しさ、楽しさが十分に伝わるようになっている。 ・各学年の内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）の配置がバランスよく、児童が様々な造形体験、材料体験を深めることができるように設定されている。 ・全学年巻頭に折り込みページがあり、どのような活動をするのか見通しが持てるように掲載されている。さらに、各題材の分野・領域、中心的な学習の目標など、学習内容のすべての概要を分かりやすく示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がどのような造形活動をするのか理解しやすいよう、目次と題材の主なめあてをキャラクターで、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）を色と形で示している。 ・全学年、題材名の上に「ここでつかう主な材料や用具」がイラストと文字で示され、それらを使った多様な表現方法や作品が例示されている。 ・工作など、基本的な作り方や安全面での気を付けることをイラストをわかりやすく示している。 ・学習のめあてで特に大切なものに下線を引いて示している。 ・配色やフォントでユニバーサルデザインが採用されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 図画工作 】 No.【2/2】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
<p>日本文教出版 ずがこうさく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、各題材に児童の感覚や行為を大切にしたい目標設定を「手のひらマーク」を用いて示している。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童が思いや考えをもとに構想し、創造していくことを大切にしたい目標設定を「ハートマーク」を用いて示している。 ・「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関して、児童が主体的に取り組む態度についての目標設定を「ふたばマーク」を用いて示している。 ・児童がコミュニケーションをとりながら造形活動を行う様子を紹介している。作品コメントやワークシートを紹介し、形や色・言葉で思いを伝え合う活動を促している。 ・美しいものや崇高なものを尊重する心を育むことや友だちと理解し合うことなどの関連を図りながら、道徳との関連があるページについては道徳マークを用いている。 ・「あわせて学ぼう」マークがあり、他教科や他題材と関連付け、教科横断的な学習の手立てとなるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、第5・6学年下「水の流れるように」では、盲学校の児童生徒との作品を通じた交流を掲載している。 ・「たくましく生きる力」に関連して、第5・6学年下「平和をつなげるかたち」では、表現には見る人に平和や人権を考えるメッセージを伝える力があることを示している。 ・「社会とかかわる力」に関連して、第3・4学年上「みんなとつながる」では、図画工作で学んだことを生活や社会で生かしたり、つないだりする事例（高齢者のための施設の訪問・身近な人に贈る様子）などを掲載している。 ・多様な感じ方を尊重する態度を育むために、友だちとの対話的な学びの場面を豊富に掲載し、外国の子どもの作品や、海外からの訪問学生との活動事例を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2学年上では、幼児期の学びと図画工作での学びを関連付け、円滑に接続できるように、言葉とともに幼児の造形活動の写真を掲載している。 ・言語活動の充実に向けて、第3・4学年下「ポーズのひみつ」では、作品を鑑賞しながらメモを書き込んだり議論したりする活動が紹介されている。 ・第5・6学年下「墨と自ら広がる世界」では、国語科（書写）と関連させ、墨を使って絵に表す題材が設定されている。 ・情報活用能力の育成に関し、第5・6学年上「形が動く絵が動く」では、ものを少しずつ動かしたり、形を変えたりして撮影し、動画をつくる題材が掲載されている。 ・3～6年生には、英単語を示したページがあり、QRコードを読み取ることで、ウェブページの発音データを聴くことができる。 ・「形と色でショートチャレンジ」として、気軽に楽しく活動でき、造形的な見方や考え方、発想力を身に付けられる短時間扱いの絵画題材を各学年に設けている。 ・各学年「教科書美術館」のコーナーが設けられ、我が国の伝統的な文化や伝統行事などで見られる作品、工芸作品が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で主に一題材を見開き2ページで構成されている。各学年の各内容の題材が同じような割合で設定されている。作品や写真をより大きく見やすく、インパクトをもたせて掲載している。情景写真と作品例は、子どもの姿を示している。 ・すべての題材において、造形的な見方・考え方を一人ひとりが発揮している姿を、活動の姿の随所に吹き出しの言葉を使って示している。 ・活動の終わりに、題材での学びを振り返り、次の学びへ生かそうとするように、振り返られる言葉がけが示されている。 ・ICTを活用して、学習を効果的に進められるように、デジタルマークを付けた題材では、ウェブサイトコンテンツがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容（領域）を形と色で示し、各題材の冒頭に、学習のめあてが示され、具体的な児童の姿を掲載している。 ・子どもの活動と共通事項を結び付け、学びを促すキャラクターが設定され、吹き出しが多く使われている。 ・児童がどのような造形活動をするのか理解しやすいよう、目次と各題材の左上に、色とマークで示している。 ・特別支援教育・ユニバーサルデザインに対応していて、学年に合わせて文字の大きさが調整されている。誰もが見やすい見分けやすい配色によるデザインになっている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 家庭 】 No.【1/2】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>東京書籍 新しい家庭 5・6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、意欲が高まる取り組みやすい実習題材を取り入れ、必要な時にいつでも基礎・基本の確認ができる「いつも確かめよう」が掲載されている。また、全ての小題材に「学習のめあて」「ふり返ろう」が設けられている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、全ての大題材が問題解決の流れ(ステップ1～3)で展開されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」に関して、自ら課題を設定し、計画を検討し、実践、まとめ・発表、評価・改善をする形式が、複数個所で設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、他者を尊重し思いやる力を育めるよう、家族や地域の人と関わる体験などの題材が、複数個所設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、食事の必要性や栄養に関連する内容が系統的に繰り返し設定されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、家庭や地域で自分ができることを考え、工夫するような題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、生活をよりよく変えていく力の育成を目指している。 ・主体的・対話的で深い学びとなるように、学習の流れが示され、「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動が取り入れられている。 ・新設された「家族・家庭生活についての課題と実践」では、長期休業中に実践できるように、取り組み例とまとめ方の例が複数掲載されている。 ・衣食住に関連する日本の伝統と文化が取り上げられている。 ・持続可能な社会の構築を、消費者教育と合わせて一つの大題材として取り上げられている。 ・「道徳教育」「防災教育」「安全教育」「食育」「環境教育」「キャリア教育」「情報教育」など今日的な課題について取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学習項目で、問題解決的な学習が行える構成(1見つめよう→2計画しよう・実践しよう→3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)になっている。 ・第5学年で基礎的な知識・技能を学び、第6学年でさらに難度の高い知識・技能の習得につながる実習題材が配列されている。 ・実習や学習環境等の準備がしやすいよう、第5・6学年で指導内容を同時期に行える配列である。 ・学校や地域に応じたカリキュラムに対応できるよう15の大題材をユニット型で示している。 ・A4判で表紙は防水加工である。 ・開いた状態を保てる。 ・ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや調理の流れがわかるようにイラストや写真、レイアウトを工夫している。 ・第5学年以降に学習する漢字には、ふり仮名がふられている。 ・調理や製作に関する無料のデジタルコンテンツ(動画)が随所に用意されている。 ・中学校家庭分野、他教科と関連する内容には、関連マークが示されている。 ・小学校英語と関連して、家庭科に関係する英単語とその日本語訳が脚注に掲載されている。 ・巻末の「いつも確かめよう」では、実物大の写真が掲載され、児童が実際に手を置いて練習できるようになっている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 家庭 】 No.【2/2】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>開隆堂 わたしたちの家庭科 5・6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された目標をふまえた工夫や配慮がされている。 ・「知識・技能」の習得に関して、生活を見つめ、身につけた知識や技能を生活に生かせるよう、児童が想起しやすい場面が設定されている。また、基礎・基本が身につけられるよう、系統的な配列になっている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」など、知識・技能を活用し課題を解決する題材が随所に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」に関して、習得した知識・技能を生活につなげる「できたかな」「ふり返ろう」「生活に生かそう」などの欄が各題材に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、多様性を認め合い、思いやる心を育めるよう、地域で暮らす様々な人が紹介された題材が、複数個所設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、食事の大切さに関心を持ち、食生活を組み立て、生活に生かす題材が設定されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、家庭や地域で自分ができることを考え工夫するような題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して、2人の小学生が主人公として学習のガイド役を務め、ストーリー性を持たせている。 ・生活から課題を発見し、解決するための「生活の見方・考え方」が4つの視点として示され、各題材でそれぞれの重視する視点が示されている。 ・主体的に問題解決に取り組めるよう、対話と学び合いのある体験的な活動が随所に掲載されている。 ・各題材のとびらにイラストや写真で始まるフォトランゲージが取り入れている。 ・新設された「生活の課題と実践」の事例が複数示され、課題解決に向かうスモールステップも示されている。 ・安全・衛生・防災・プログラミング教育への配慮、伝統文化の充実、キャリア教育との関連、食育への対応、中学校・道徳・他教科との連携が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材は、問題解決のプロセス（1見つける・気づく→2わかる・できる→3生かす・深める）に沿った3つの小題材で構成されている。 ・第5学年で基礎的な知識・技能を学び、第6学年でさらに難度の高い知識・技能の習得につながる実習題材が配列されている。 ・実習や学習環境等の準備がしやすいよう、第5・6学年で指導内容を同時期に行える配列がされている。 ・学校によって題材の組み換えができるように題材が細かく設定されている。 ・A B判で表紙は防水加工である。 ・開いた状態を保てる。 ・ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや調理の流れが分かるように、イラストや写真、レイアウトが工夫されている。 ・5・6年配当漢字には、見開きのページごとの初出個所にふり仮名がふられている。 ・各題材にQRコードを記載され、関連する動画を見ることができる。 ・各ページの下部に家庭科の内容に関する用語の英単語が記載されている。巻末にはまとめて記載され、QRコードを読み取ることでリスニングもできる。 ・コンピューターや情報通信ネットワークを使用して、学んだり発表したりする場面が随所に掲載されている。 ・「いろいろなおかずの例」として掲載されている写真が随所に掲載されている。調理をする際の難易度が示されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 保健 】 No.【1/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 新しい保健	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された目標を踏まえ、単元ごとに「豆知識」で必要な知識を補いつつ、学習の最後に穴埋め形式のまとめが設定されている。また、「思考力・判断力・表現力等」の育成という面では、「ステップ1～4」という流れで作られている。 「学びに向かう力・人間性等」の育成という面では、学習の最後に「まとめる・生かす」という活動を通して、これからの生活につながるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」という面で、命の大切さや自己の成長について学習できるようにするため、赤ちゃんの写真や1歳の頃の手形・靴の写真が掲載し、 「たくましく生きる力」に関連させて、感染症の予防方法や歯周病の歯茎と健康な歯茎との比較を写真や絵で表現している。 「社会とかかわる力」という視点から、地域の保健活動の職種やどのような活動をしているかなど写真で表現している。また、「ユニバーサルデザイン」の説明や様子なども写真で掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動の充実に向けた手立てとして、自分ごととして捉えて思考する場面を随所に設定しており、立場を明確にして取り組む活動が取り上げられている。また、他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを記述する部分も設けている。 生活リズムのチェックシートがあり、実際に自分の生活をチェックすることができる設定となっている。 「心の健康」の最後に、自分の気持ちを伝えるロールプレイが設定されている。 今日的な健康課題に対応した「資料」のページが充実している。 インクルーシブ教育への配慮という視点から共生への配慮として、さまざまな場面で多様な人との関わりとの例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びとなるように、「ステップ1～4」で構成され、児童が学習の流れをつかみやすいよう工夫されている。また、「つなげようマーク」によって、他教科と関連でき、教科等横断的に進められるような場面が随所に見られる。 各学年の単元において、学習活動を保障できる十分な文章があり、偏りなく配分されている。 A4判で、「鉛筆等による筆記適正（書きやすさ）が高く、耐久性に優れ、軽量の紙を開発し、使用しています。」と表示されている。また、記入スペースを多くし、教科書をワークシートのように活用することができ、あとで振り返ることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の課題や方法等がステップによって示されている。また、児童の気づきを促したり、理解を深めたりするための写真が大きく、複数取り上げられている。また、キャラクターの吹き出しで、アドバイス等が書かれている。
大日本図書 たのしい ほけん	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領において示された「資質・能力の」3つの柱で整理された目標を踏まえ、「知識・技能」の習得に関して、運動・食事・休養・睡眠の関係が見開き2ページにわたって掲載されていて、児童にわかりやすいよう整理されている。また、「思考力・判断力・表現力等」でも、児童同士で、話し合う場面が随所に設定されている。 「学びに向かう力・人間性等」に関しても、「もっと知りたい・調べたい」コーナーを設け、様々な資料が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、エイズに関しての正しい理解と、共に生きていく大切さなどの共生の観点から掲載されている。 「たくましく生きる力」に関連して、自分の生活をチェックする項目が設けられており、健康教育の観点から学習することができるようになっている。 「社会とかかわる力」に関連して、安全マップを作成し、地域や家庭にも生かしていくようにする態度を養う項目が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語能力の育成という視点から「話し合ってみよう」という項目が随所に設けられていて、児童自身の考えを伝えられるよう設定されている。また、学校段階間の円滑な接続に関して、中学校2学年で学習する自然災害から身を守ることについて考えられるように、様々な被害の写真が掲載されている。 情報の活用力の育成に関して、動画や資料を活用して、学習を進める手立てが記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の単元において、学習活動を保障できる十分な文章があり、偏りなく配分されている。 AB判で、「環境に配慮した紙と植物性油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工しています。」と表示されている。また、系統的に学習できるよう、導入の「学習ゲーム」の中にいる人物が、単元の途中にも繰り返し、掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容について、見開きのイラストで大きく取り上げられている。また、ゴリ先生や児童のキャラクターの吹き出しで、発問やアドバイスを示されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 保健 】 No.【2/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
文教社 「わたしたちのほけん」 「わたしたちの保健」	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、各単元で学ぶ知識が色付きの枠内にまとめられており、キーワードはさらに太字で表記されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、自分で考え、自分の言葉で表現できるように、各単元末に「〇〇宣言」のページが設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、これからの生活につながる意欲を高めることができるように、各単元末に「〇〇宣言」のページが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、命の大切さについてより身近に感じることができるよう、母親と赤ちゃんの関係について、第4学年の児童の文章が掲載されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、健康教育の観点からの学習として、生活習慣と新体力テストの関連が、グラフを示しながら取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連し、地域貢献活動の観点からの学習として、自助・公助・共助について様々な写真が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなるように、各単元のまとめに「〇〇宣言」が設定されている。 ・言語能力の育成に関して、児童が自分の考えを伝えられるように、単元のまとめとして、体験活動の充実に関して、体の発育・発達のまとめとして、毎日の生活の中で続けていける運動の例示が取り上げられている。 ・学校段階間の円滑な接続に関して、「思春期の体の変化」について考えるため、「中学1年生で初経があった」「中学2年生で精通があった」というコメントが掲載されている。 ・情報の活用力の育成に関して、動画などの資料を活用して、学習を進める手立てが記載されている。 ・児童の学習上の困難さに応じた工夫に関して、単元のまとめとして、「〇〇宣言」で自分の考えをまとめるために、具体的な例示が複数表示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の単元において、学習活動を保障できる分量があり、偏りなく配分されている。 ・自ら課題を見つけ、これからの学習を見通せる「動機づけのページ」を単元の始まりに配置している。 ・設定した課題を解決するための活動として、「考えてみよう」「調べてみよう」という発問によって学習を進めていけるようにしている。 ・課題解決の支援として、こどもキャラクターが対話形式をとっている。 ・単元の終わりには、新しい自分へレベルアップとして、記述欄を設けている。 ・章末には、宣言を記載するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で、「この教科書は、ユニバーサルデザインに配慮して編集している。」 ・また、再生紙、植物油インキを使用しています。」と表示されている。 ・文章表現や図版等に関して、児童の理解を深める手立てとして、大切な言葉が太字で表示されたり、まとめの文章が色付きの枠で囲んで表示されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 保健 】 No.【3/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
光文書院 「小学ほけん」 「小学保健」	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、学習の最後に知識を確認できるように、「学習のまとめ」の中で、選択形式で言葉の穴埋めをする活動が設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童が思考しやすいように、児童の視点で、問いの投げかけが随所に設けられている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童の意欲を高めることができるように、「栄養士に聞く」等の専門家からの意見が随所に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、「共に生きる社会のために」として、ヘルプマークやマタニティマーク等の写真及び説明が掲載されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、食育の観点からの学習として、スポーツ選手の例や、国立スポーツ科学センターの方の話が取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、地域貢献活動の観点からの学習として、社会に生きる一人としての意識を高められるように、津波避難についての解説が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなる手立てとして、巻頭に「何のために」「何を」「どのように」学ぶのが例示されている。 ・他学年との関連等に関して、学習の系統性を明確にするため第3・4学年では第5・6学年の内容を、第5・6学年では第3・4学年の内容が示されている。 ・言語能力の育成に関して、児童が自分の考えを伝えられるように、学習活動の中に積極的に「話し合おう」が設けられている。 ・情報の活用力の育成に関して、動画などの資料を活用して、学習を進める手立てが記載されている。 ・身近な生活課題を見つける工夫に関して、単元のはじめに、学習内容を把握するため、児童の生活に寄り添った4コマ漫画が設定されている。 ・児童が自分の興味・関心に応じて学びを広げ、深めることができるよう、体験活動の充実に関して、「さらに広げよう・深めよう」コーナーで体験活動につながる資料が複数掲載されていたり、ウェブサイトが紹介されていたりしている。 ・現代的な課題への対応を重視し、運動と健康の関連や、食に関する内容、情報化社会への対応、共生社会の実現のためになど様々な課題への対応を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の単元において、学習活動を保障できる分量であり、偏りなく配分されている。 ・見直しをもって学習を進めることができる工夫がされている。 ・1時間原則見開き1ページの紙面構成となっている。 ・児童の学習上の困難さに応じた工夫に関して、学習を始める前に、どうやって学んでいくのかを理解するために、学習の進め方が具体的に説明されている。 ・身近な生活課題を見つける工夫に関して、単元のはじめに、学習内容を把握するため、児童の生活に寄り添った4コマ漫画が設定されている。 ・児童にとって理解が深まるように、単元の途中やまとめの前に、「さらに広げよう・深めよう」のコーナーが複数に設けられている。 ・主体的に課題解決に取り組むために、「自分事」としてとらえられるよう、導入でこれまでの経験をもとに考える場面を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で「専門家の指導のもと、特別支援が必要な児童に配慮した内容や構成、デザインとしています。」と表示されている。 ・文章表現や図版等に関して、児童の気づきを促したり、理解を深めたりする手立てとして、顔が大きくて表情が明確に示されたイラストが掲載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 保健 】 No.【4/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>学研 「みんなのほけん」 「みんなの保健」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、「かがくの目」コーナーと「ことば」コーナーが設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、具体的な例示が随所に掲載されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、学習のまとめで、「ふり返る→深める→つなげる」という項目が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、共生の観点からの学習として、様々な人がいることに気付くよう、心の悩みを考える学習や、よいところを探す活動が設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、運動・食事・休養・睡眠の改善取組例として、様々な地区の写真が掲載されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、地域貢献活動の観点からの学習として、けがの手当の部分にて、小学生でもできる救急の通報の仕方が明示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びとなるように、学習内容を明確にするための様々なマークが設定されている。 ・他教科との関連等に関して、他教科の学習も健康に関係していることに気付くよう「関連」マークが設定されている。 ・言語能力育成に関して、児童が自分の考えを伝えられるように、「教えあう・学びあう活動」マークが随所に設定されている。 ・体験活動の充実に関して、「心の健康」のまとめとして、自分の気持ちの伝え方のロールプレイでの学習活動が設けられている。 ・学校段階間の円滑な接続に関して、中学校第2学年の「がんの予防」で学習する「がん」について考える学習が、発展として1ページをつかって掲載されている。 ・児童の学習上の困難さに応じた工夫に関して、各単元の最後に学習のふり返りができるように、3段階の表情によるチェック欄が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の単元において、学習活動を保障できる分量であり、偏りなく配分されている。 ・身近な生活課題を見つける工夫に関して、生活リズムの見直しについて考えるために、1ページ分の学習シートが設定されている。 ・生涯にわたっての態度を養う工夫に関して、自分の生活につなげられるように、学んだことを教え合ったり、発表したりする場面が設定されている。 ・積極的な健康観、共生の視点を基本においた内容構成がされている。 ・1時間を「つかむ」「考える、調べる」「まとめる・深める」と本文で構成している。 ・興味関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないもの」を「見える化」した資料掲載としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で、「この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮して制作しています。」と表示されている。 ・文章表現や図版等に関して、児童の思考を促すための役割に応じたキャラクターが設定されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 外国語 】 No.【1/4】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関 連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 NEW HORIZON Elementary	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、「ことば探検」などのコーナーを設定し、日本語と英語の違いに気付くことができる構成となっている。また、児童が英語と日本語の語順の違いに気付くよう、関連のある文を列挙している。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童が自分なりに文章を考え、英語を使って表現できるよう、実際の生活に即した目的・場面・状況が随所に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各単元のまとめとして、学習内容を活用する言語活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、児童がいじめや差別のない社会や世界の人権について考えることができる読み物などが設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、国境を越えて働く人々の様子が取り上げられ、外国で活躍する日本人や日本で活躍する外国人について書かれている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、児童が夢をもって主体的に学べるよう、なりたい職業など、キャリア教育につながる題材が随所に扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成に関して、他者を意識したコミュニケーションができるよう、スピーチや発表する際に、よりよく伝えるための準備や方法について取り上げている。 ・2学年を通した系統性を持たせている。 ・中学年での学習を各単元のはじめにふり返り、円滑な接続を図っている。 ・単元を通して、目標となる表現についてペアで尋ね合うことを繰り返し行い、主体的かつ協働的に学ぶことで気付きが生まれるような活動が設定されている。 ・環境問題について、単元として大きく取り扱われるなど、他教科と関連する題材とともに、自分事として捉え、自分の思いを発信する活動が設けられている。 ・児童が段階的に学べるよう、第5学年では地域から日本のことを、第6学年では日本から世界のことを学ぶ流れで単元が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の習得のため、文字を書く部分には、4本線が引かれている。 ・イラストが見開きの部分や5年の最初に3、4年で習った表現などが入っている。 ・自己肯定感を高められるよう、スモールステップ構成となっている。 ・過去形や頻度を表す語などは、話題に変化をつけて繰り返しスパイラルに取り扱っている。 ・各技能がバランスよく円滑に学べるように、各単元において、音声から文字へ学習が進む構成になっている。 ・児童が書き込んだり切り貼りしたりする本体は大判（A4判）、別冊の語彙・表現集は携帯に便利なA8判サイズになっている。 ・紙は軽くて丈夫、かつ裏に写りにくいものを使用している。巻末は書き込みのしやすい用紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する際に、何の技能を習得するのかがわかるように、5領域の技能がアイコンで示されている。 ・児童が何度も復習しながら英語の音声に触れられるような導入部分になっている。 ・慣れ親しんだ表現を使う活動が設定されている。 ・児童が内容を推測しながら聞くことに役立つ場面や状況を示すイラストや写真が用いられている。 ・文中で場面や状況に注目させたり、言葉を入れ替えさせたりしたい箇所には、色付きの網掛がしてある。
開隆堂 Junior Sunshine	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、児童が基礎的な力を習得できるよう、同じ表現を繰り返し練習したり、日本語と英語を比較したりする言語活動が設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、既習の英語を使いながら、テーマに沿って考え、相手に伝えるという言語活動が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童が楽しく学べるよう、目的・場面・状況を意識しやすい題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、共生の観点から、パラアスリートや様々な国のアスリート等、様々なスポーツの写真が取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、海外における食べ物についての知識が取り上げられ、食育の観点から児童の生活の中で生かせるようにしている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、働くことやキャリアについて考える機会となるように、身近な職業が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のコミュニケーションを意識して、単元それぞれにペアやグループでの活動が設定されている。 ・児童が興味関心をもって活動できるような構成になっている。 ・他教科との関連を図り、学びが深まるよう、日本の地理や星座などが取り上げられている。 ・中学校との接続を図るために、小学校で体験的に学習したことを体系的にまとめられているとともに、中学校の学習内容を体験したり、中学校生活について学んだりする内容が掲載されている。 ・世界と自分の住む地域とを比べながら理解を深められるよう、世界の様々な挨拶の言い方や正月の様子、十二支や年賀状なども扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に見開きで構成されたページがあり、学習する内容や活動が児童にわかるような構成になっている。 ・1時間の活動が過重にならないように、基本的に1ページ1時間という配当になっている。 ・児童が書く活動に円滑に取り組めるよう、鉛筆で書きやすく消しゴムで消しやすい紙が使用され、記入しやすいように罫線も書かれている。また、大きく開きやすい製本になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさが適切であり、手書きに近い書体が用いられている。 ・児童の発達段階に応じて、分かりやすく読みやすい文章表現や、語彙や活動のイメージが湧くような写真やイラストが用いられている。 ・各単元末に、各学習状況をふり返ることができるマークが配置されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 外国語 】 No.【2/4】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの 関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
学校図書 JUNIOR TOTAL ENGLISH	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、関連のある文を幾つか列挙することで、児童が共通する文構造に着目しやすくなっている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童の身近な題材を取り上げ、事前に音声教材で繰り返し練習した表現を使って発表する構成になっている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童にとって身近で興味関心のあることをテーマとして選び、児童が互いに尋ね合ったり発表したりする設定が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、世界の様々な人が登場し、児童が身近なところに多様性を感じられるようにしている。 ・「たくましく生きる力」に関して、児童が食の知識を生かして具体的に考えられるように、料理をする場面が設定されている。 ・「社会とかかわる力」に関して、将来の夢についてイメージがもてるよう、身近な人の将来の夢について聞く活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の育成に関して、英語の表現に慣れ親しめるよう、リスニングからスピーキングという流れになっている。また、まとめでは発表が多く設定されている。 ・日本や外国との違いを理解し、異文化についての関心が高まるように、多様な国や地域が題材として取り上げられている。 ・自国の文化への理解が深められるよう、日本の伝統文化について取り上げられている。 ・中学校で学ぶ文法を自然と覚えられるように、各単元で英語の歌が取り上げられている。 ・主体的な態度を促し、自分の考えをもって話し合うことで学習が深まるよう、他の児童と関わる必然性を生む課題が設定されている。 ・パラアスリートや様々な国のアスリート等、様々なスポーツの写真が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年で学習した表現や語彙が最初にまとめられている。 ・各単元において、柔軟に学習できるよう、1つの活動を15分で行う構成としながら、学習の進め方について示されている。 ・製本は、針金を使用せず、大きく開き、紙面をより広く使ったレイアウトになるような綴じ方が採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未履修の漢字には全てふりがなが付けられている。 ・活動内容によって決められた記号や、視覚的に理解を促すためのアイコンが用いられている。 ・イラストや写真が大きく見やすくなるように大判が採用されている。
三省堂 CROWN Jr.	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、日本語と英語の共通している部分を書くことで、文構造の共通部分に気付いたり、まとまりとして認識したりできるよう記載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、テーマに沿って自分なりの考えもち、それを英語で表現して伝え合う活動が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童が意欲的に話したり聞いたりできるよう、身近で興味を抱く題材が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関して、豊かな心を育てるよう、児童になじみがある物語が選ばれている。 ・「たくましく生きる力」に関して、相手を意識して関わろうとする心を育てられるよう、世界についての題材が取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関して、自分の生活に関わる人を意識しながら、自分にできることは何かを考える場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成に関して、児童の興味を引く場面や話題を取り上げている。 ・児童が興味をもって取り組めるよう、身近な場面を設定し、児童同士が関わり合いながらコミュニケーション活動ができるようになっている。 ・題材は、児童の知的発達段階に配慮した内容となっている。学校生活や家庭生活などの児童に身近な内容から、日本の伝統文化、他国の文化、自然、将来の職業など興味関心に沿った内容が選択されている。 ・他教科とのつながりが図れるよう、地図や動植物の成長などが取り上げられている。 ・中学校との円滑な接続に向けて、目的を意識しながら内容や構成を考え、表現するという、中学校で行われる言語活動が設けられている。 ・主体的・協働的に学び合いができるよう、単元のまとめとしてグループ活動を取り入れている。目的や場面を意識し、話す内容や構成を児童同士で話し合い、発表内容をつくりあげるなど、対話的な活動となるよう設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初は見開きのイラストとなっており、絵を見ながら音声を聞く活動から始められるようになっている。 ・5年生は65(70)時間、6年生は64(70)時間で設定されており、単元によっては弾力的に運用できる構成になっている。 ・音声で聞くものを含め、660語程度を扱う。 ・第5・6学年において、それぞれ6つの言語活動の目標が設定され、学びを深めるために大単元と小単元について段階を追って学習する配置となっている。 ・イラストや写真が見やすいように、大判(AB判)が採用されている。 ・紙は、白色度の高すぎない紙が利用され、長期間の使用に耐えられるような製本となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい書体CjゴシックとNCゴシックを使用している。書く活動のモデルとなる英語については手書き文字の書体が使用されている。 ・該当学年前までの配当漢字が使用されており、該当学年以上の漢字には全てふりがなが付けられている。 ・各単元の初めにあるイラストは、児童が英語を聞いて隅々まで探したくなるよう、細かく描かれ、様々な情報が詰められている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 外国語 】 No.【3/4】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関 連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>教育出版 ONE WRLD Smiles</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、外来語や語順の比較などを取り上げるとともに、活動内容を変えながら同じ表現を繰り返し触れる構成となっている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、自分の考えを基にテーマに沿ったスピーチやポスター作りなどの言語活動が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童が興味関心をもてるよう、児童の生活に関わるような目的・場面・状況が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、自分との共通点や違い、友達のよい点に気づき、自尊感情や他者意識につながるように活動が設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、児童が夢を支える健康的な生活のよさに気付けるよう、スポーツ選手を支えている人について考える教材が扱われている。 ・「社会と関わる力」に関連して、地域のよさに目を向けながら、自分たちの将来のことや生き方について具体的に考える場面が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成に関して、相手に応じて適切な言葉を選び、話すことができるようにペアやグループ活動が取り入れられている。 ・児童の身近な暮らしにかかわる場面でのコミュニケーションが設定されている。 ・中学年からの接続がスムーズにできるように、既習事項について各場面の導入でふり返りが設定されている。 ・発達段階に即した内容が選択されている。学校や地域、国内、海外へと学年が進むにつれて視点を広げさせている。 ・教科横断的な学習を通して、児童が達成感をもって学習できるよう、社会科の地図や国語の物語教材などについて、単元で取り上げられている。 ・様々な場面で自国や海外の文化等にふれ合えるよう、日本と世界の国々をテーマの中心として学習を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がゲーム形式で英語に慣れ親しむことができるような構成になっている。 ・扱う語は5年生で513語、6年生で262語となっている。 ・言語材料は、常に言語活動と結びつけられている。 ・音声事項についても、日本語との違いや音素と文字との関連、強勢やイントネーションなどについて系統的に取り上げられている。 ・紙には、過度に白色度が高くない軽量の再生紙がしようされている。製本は長期間の使用に耐えられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くときのアルファベットに近い形状の書体で、4線の上下幅は4：5：4となっている。 ・児童の想像力を高め、音声や英文理解を助ける挿絵、図版、写真が採用され、地図のようにつなげて見たいものは、見開きで掲載されている。
<p>光村図書 Here We Go!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、音声で慣れ親しんだ文字から、段階的に習得できる言語活動が各単元の最後に設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、児童が考え楽しみながら学習できるよう、趣向を凝らした場面や状況が設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、児童が自分事として捉え考えることにつながる、身近で関わりのあることが題材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、他者に配慮する態度が養えるように、英語によるやりとりの場面で反応が大切であることが示唆されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、コミュニケーション能力を育むために、自分の意図を伝える言い方など具体的な方法が多く紹介されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、人の生き方や自分の将来の夢に目を向けられるよう、自分のことを相手に紹介する場面が随所に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の育成に関して、コミュニケーションを行う際に段階的に難易度が上がるようにしている。 ・児童が楽しみながら学ぶことができるよう、体験的に英語の表現を活用し、定着させるための活動が設定されている。 ・全体を通して、ゲーム的な要素を取り入れながら動植物の食物連鎖を取り上げるなど、他教科の学習内容と結び付ける学習が設定されている。 ・各単元の初めに、学習内容についてイメージを膨らませ、理解を促すよう、映像を用いた活動が取り入れられている。 ・日本との共通点・相違点に気付けるよう、12人の様々な国の小学生を登場させ、世界で暮らす同年代の子どもたちの様子や得意なこと、外国の文化や風習などを紹介する単元が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が単元のイメージを持てるよう、映像を使った活動が単元の最初に取り入れられている。 ・第5・6学年を通して、一貫したストーリーになっており、各単元では、見開きの2ページずつで共通した構成になっている。 ・紙面を視覚的に大きく見せる横幅の広いAB判が採用されている。軽くて裏写りしにくく、鉛筆で書き込みやすい質感の紙が使用されている。 ・製本は中央が最大限開く「あじろ綴り」が採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や教材の内容に応じた文字の大きさや文字組みになっており、書くことの教材では意図して大きな文字が使用されている。 ・各単元の初めに、児童が見通しをもって学習に臨むための学習目標や流れが掲載されている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 外国語 】 No.【4/4】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関 連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
啓林館 Blue Sky elementary	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得に関して、単元で学習する語句や表現について音声教材で段階的に活用したり、短時間で学習できる内容を明示したりしている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、場面や状況から英語の意味を推測して聞いたり、自分のことについて考えて発表し合ったりする活動が設けられている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、自分のしたいことを考えて表現できるよう、身近な生活の中から題材を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、困った人を助ける場面や相手に配慮して会話する場面が複数設定されている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、身の回りにある食べ物を思い出したり、その人に合った食事を注文したりといった食育につながる活動が設定されている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、自分の住む地域に関連させながら、防災の備えや将来つきたい職業について考える活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに目標とする表現を繰り返して練習できるように4技能の言語活動を展開するようになっている。 ・日本との違いに気付くことで、日本の文化理解や他国への興味が持てるように様々な国の文化や習慣が載っている。 ・ペアやグループの中で児童が考え、コミュニケーションをとる場面が設定されている。 ・5年生では、自分の身の回りのこと、知っていることを扱い、6年生では、身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことについて扱っている。 ・児童が主体的に学習に向かえるよう、身近で児童の興味関心を引く課題が設定され、相手を知ろうという意欲につながる対話的な活動が取り入れられている。 ・児童の言語理解が深まるよう、社会の日本地図や国語の物語教材、グラフの統計の読み取りなど、他教科で既習した内容が取り上げられている。 ・語句や表現を「耳に慣らす→聞き取る→発話する」流れを積み重ね、集大成として各単元の最後で発表活動を行うようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態によって扱うことのできる活動やストーリータイムという読み物教材がある。 ・語彙は700語以上を扱っている。 ・各学年64/70時間を配当されている。 ・イラストや写真を効果的に掲載できるように、大きな判型（A B判）で、ページを大きく開けるよう「あじろ綴じ」製本が採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域のうち主にどの領域に関する活動なのかわかるようマークされ、児童が身につける力を意識した表記となっている。 ・UDフォントを使用している。 ・字間にゆとりをもたせ、読みやすくしている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【1／8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>東京書籍 「新訂新しいどうとく」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法にある「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができる」ということについては、2～6年生の巻頭部分に「道徳の時間が始まるよ！」という教材を配置している。また、各学年での学習や生活と関連付けるための「付録 つながる 広がる」を配置している。 ・教育基本法にある「個人の価値を尊重し」ということについては「いじめ問題」に対応した2つの教材を「いじめのない世界へ」という枠組みをつくり、各学年配置している。 ・学習指導要領に示されている「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う」ことについては「生命の尊さ」（6年）や「美しいものに感動する心」（2・4年）を扱った教材を複数取り上げている。また「出会う・ふれ合う」を設け、他人との人間関係を築く中で、個人の価値を尊重したり個人のよさを伸ばしたりする活動をつくっている。（各学年2回） ・「主体的に学習に取り組む態度を養う」ために、1時間の授業ごとに色を塗る「学習の記録」や、児童の考えをまとめるための「学習のふり返り」「（これから）かがやく自分に（!）」「学習のまとめ」を設け、記述することで、児童も実感でき、評価にも活用できるようにしてある。 ・「考える道徳」を実践するために、「道徳の学習を進めるために」という学習の進め方を示すとともに、「話し合いの約束」を設け、言語活動が適切に行われるようにしてある。（各学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、他者を尊重する力を育むために、児童がイメージしやすい物語教材を多く設けている。 ・「たくましく生きる力」については、児童が今まで経験したことがあったり、これから経験したりするかもしれない内容を教材として扱っている。また、情報モラルを扱った教材を各学年の発達段階に応じて、段階的に指導ができるよう配置してある。また、問題解決的な学習や体験的な学習を進めるために、各学年教材を配置してある。 ・「社会とかかわる力」については、家族の一員としての役割や植物を育てる経験からイメージをふくらませるような内容を教材として扱っている、また、な課題への対応として、情報モラルや、安全・防災、食育、国際理解、平和などに対応した教材も取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容の重点化により、より重要と考えられる内容項目に2～3教材の複数の教材を配置し、繰り返し指導を行えるようにしている。 ・教材で扱う内容項目を児童に分かりやすい言葉で「学習のテーマ」として示している。 ・主体的に考え、自分の生き方を追求するために、生活に活かすことができる問題解決的な学習を取り入れている。 ・いじめをしない、許さない心を育てるために「いじめ」について投げかけ、2つの教材（直接的教材と間接的教材）を組み合わせ、ユニット形式を取り入れている。 ・コミュニケーション活動として、読み物教材で道徳的価値を学習したあと「であう・ふれあう」の中で活動を行うことで、友達との心の交流を図り、人間関係の構築をねらっている。 ・「考える道徳」への学習手順として「きづく」→「かんがえるはなしあう」→「ふりかえるみつめる」→「いかす」を明示している。 ・道徳の学習を進めるために、言葉だけではなく授業のイメージがしやすいように、イラストを使って視覚的に表現している。また、ショートストーリーを読んで話し合うことで、話し合うことのよさに気づく工夫もされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横幅の広い紙面（A B版）を採用し、行間にゆとりを持たせて文章を読みやすくしている。 ・教材への興味や理解が深まるように、挿絵や写真を大きく掲載している。 ・学年段階に合わせて、使用する文字の大きさ、字詰めや行数を調整している。 ・読みやすさに配慮し、少し太めの教科書体文字を使用している。 ・色覚多様性に配慮して、見やすい、見分けやすい配色をしている。マークについても、色だけではなくデザインの違いも工夫している。 ・再生紙・植物油インキを使用している。 ・「導入教材」「本編教材」「付録」という3つのブロックで構成している。 ・読み物教材を通して考えた道徳的価値を、より深めるための学習活動ページを、効果的に配置している。 ・「学習のまとめ」での教科書への書き込みを行うときに、「罫線付きの書き込み欄」を作っており、文字が書きやすい工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文と児童への投げかけ文については、意味のまとまりで改行することによって、読み間違えを防ぎ、文章の意味がつかみやすくなる工夫をしている。 ・「ころん」というキャラクターが、毎時間「はじめに」という発問を行い、この時間に何を考えたらいいのか見通しをつけさせている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【2/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
学校図書 「かがやけ みらい きづき！まなび？」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法にある「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については「共に生きる、よりよく生きる」を編集の基本方針とし、道徳的価値に基づいて、多様な考え方に触れ、自らの生き方、普段の生活や心身の健康の大切さについて考える力を育めるよう配慮している。 ・教育基本法にある「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い・自主性及び自立の精神を養う」については、「夢のつながり」から、自らを律し、将来への希望をもち、自分の長所や個性を肯定し、自らの人生を切り拓いていこうとする意欲を高めるとともに、未来を実現させる喜びや勇気を与える教材を配置している。 ・教育基本法にある「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し」については、「人のつながり」から、多くの人や身近な生活の中で、互いに尊重し合うことの大切さを認識し、共に生きていくための心と態度を育てる教材を配置している。 ・教育基本法にある「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」については「命のつながり」から考え、命の連続性、生命の尊さや生きていることの大切さを理解できるような教材の配列について配慮している。 ・教育基本法にある「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」については「時（文化）のつながり」から考え、自らの拠としての伝統や文化に注視し、それらを担い受け継ぐ自覚を深めるような教材の配置について配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、資料をもとに価値を理解した後、より自分の事として考えられるよう「まなび」の教科書を通して、さらに価値について考えたり、自己を見つめたりする場を設けている。 ・「たくましく生きる力」については、低学年がイメージしやすい遊びや場面を使った教材を配置することで、道徳的価値について理解しやすくなる配慮がされている。 ・「社会とかかわる力」については、自分たちの学校や地域、公園などでの行動から考えられる事例がもとになった教材を配置することで、これからの行動についてのイメージを膨らませやすい配慮がされている。また情報モラルについて、児童の具体的な生活の場面に即した教材から、これからの情報社会で必要となる情報モラルの問題を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的、発展的な指導の工夫として、行事や学校生活を題材とした教材が随所に配置され、児童自身の体験と重ねながら、道徳的価値に気づくことができるよう工夫されている。 ・「まなび」の見開きでユニット構成し、複数時間での関連を図った指導ができるようになっていく。 ・学校だけではなく、家庭でも保護者が記入できる欄を設け、家庭との連携について配慮されている。 ・いじめ問題について、学級づくりの理論に基づき、4月・6月11月を柱として、年間を通してくり返し学べる配列になっている。 ・食育や健康、安全・防災教育を扱った教材や国際理解教育、持続可能な社会を扱った教材など、現代的な課題に関する指導への配慮がされている。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「きづき」本文には、内容項目、主題、発問がなく、児童自身が自ら問題に気付けるように配慮されている。また、巻頭には、道徳の授業への向き合い方について示されたページがある。また「まなび」に、ふり返り欄「つなげていこう」という欄を設け、道徳的価値を自分との関わりで捉え、将来に進んで生かそうとする姿勢をもととする配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な価値や課題に気付かせる教科書「きづき」と、気付いたことを議論し、深める「まなび」の二冊でひとつの教科書として構成されており、児童が自ら問題に気づき、考えられる配慮がされている。 ・6学年間を見通した発展性に十分に配慮し、各学年段階において重点化されている内容項目について複数配列し、適切に指導できるよう構成されている。 ・別冊「まなび」「こころのパレット」では、低・中・高学年の2学年単位でタイトル名を統一し、同じ課題に対する発達段階の変化も見取れる工夫がされている。 ・「きづき」の教材文は、教師の範読5分程度を想定し、45分授業に適した程度・分量に設定されている。 ・「きづき」は軽量の用紙を選択し、扱いやすい製本となっている。 ・「まなび」は、児童が書きやすいように中綴じになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年教材では、分かち書き、文節改行を施し、読みやすくなるような工夫がされている。 ・学年配当漢字については、全てふりがなを付け、「読む」ことへの負担を軽減し、「考える」ことを学習の中心となるよう工夫されている。 ・児童の発達段階に応じた文字の大きさを使用している。 ・マークは、色とデザインの双方から判別できるような工夫がされている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【3／8】

発行者 教科書名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
教育出版 「小学 道徳 はばたこう明日へ」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法にある「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については、全学年を通じて、多種多様な教材を掲載し、巻頭のオリエンテーションを工夫することで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳性を培うことができるようにしている。 ・教育基本法にある「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い・自主性及び自立の精神を養う」については、「いじめや差別」について考える教材を体系的に配置している。 ・学習指導要領の「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う」については、「いじめや差別」などを扱う教材を豊富に掲載し、体系的に学べるよう配慮されている。 ・学習指導要領の「豊かな心を育む」については、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という内容を設け、道徳科で学んだことを日常生活の中で生かし、豊かな心を育むことができるように発問の工夫をしている。 ・学習指導要領の「未来を拓く主体性のある日本人を育成する」については、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「導入」→「展開」→「終末」の学習の流れとそのポイントを児童に分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、自他の命を尊ぶ心を育てることに重点を置き、「生命の尊さ」について考える教材を複数掲載している。 ・「たくましく生きる力」については、異なる立場からの考えを取り入れた教材や、登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材など、「問題解決的な学習」に適した教材を随所に掲載し、その教材には、「拡大導入」が設けてあり、教材を通して、物事を多面的・多角的に考え、議論していくことができるようになっている。 ・「社会とかかわる力」については、「道徳的行為に関する体験的な学習」に適した教材には、「やってみよう」が設けられ、役割演技や日常体験を想起して話し合う活動が取り入れられており、道徳的諸価値の理解を、生活の中での行為や習慣に結びつけていくことができるようになっている。また、体験を通して、人としての行動について考えを深める「モラルスキルトレーニング」が取り入れられている。また、現代的な課題について、情報化への対応以外にも、「食育」「法教育」「健康教育」「福祉教育」「キャリア教育」「社会参画教育」など多種多様な教材で扱い、多面的・多角的に考えることができるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末にはさまざまな問いが設けられており、児童がさまざまな視点から物事を見つめ、多面的・多角的に考えることができるよう工夫がされている。 ・巻頭には道徳開きのページ「〇年生の道徳の学習が始まるよ」が、巻末には振り返りのページ「学びの記録」「一年間の道徳の学習をふり返ろう」があり、これらを使って、自分自身を深く見つめ、成長を実感し、これからの課題や目標を見つけられることができるよう工夫がされている。 ・一教材あたりの文章が短いので、「読む」ことの負担が少なく、全員が話し合いに参加する授業が実現できる工夫がある。 ・「いじめをなくす」「生命を尊重する」「情報モラルを考える」の三つを重点テーマとして位置づけ、多面的・多角的に考えることができる多種多様な教材を複数掲載している。 ・「いじめ問題」や「差別問題」について考える教材を体系的に配置し、この問題に真正面から向き合っている。 ・今日の社会をつくりあげてきた人々、道を切り拓いてきた人々の生き方や考え方に学び、人間への信頼を深め、自らを高めていこうとする意欲を培うことができるように、多彩な人物教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が無理なく学習ができるよう教材が精選され、短い教材、見て分かる教材を積極的に掲載しており、児童にとって内容が分かりやすく、考え、議論する時間が十分に取れるよう配慮されている。また、学年ごとの教材は児童の発達段階に即した内容と文章量で構成されている。 ・学習時期と教材内容の季節が一致するよう教材が配列されている。 ・学習指導要領で定められている内容は30本の教材で充足されており、地域教材などの多様な教材の活用は補充教材との入れ替えで容易に行えるよう工夫されている。 ・版型はA B版を採用しており、イラストや写真・図版が大きく掲載されている。教材内容を精選して全体のページ数を抑えたり、軽量で丈夫な用紙を採用したりすることで重量を軽くし、身体的負担を軽減するよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた大きさの文字が使用されており、字間・行間は適切で、児童が読みやすいようデザインされている。 ・低学年では読み誤りがなく、言葉のまとまりが分かりやすいように、2年の7月までの教材を分ち書き、文節改行で表している。また、分ち書き終了後も6教材で文節改行を行い、段階的に表記を変えることで、読みの負担を軽減している。 ・教材内容の理解を助けるために、イメージを広げる挿絵や写真・図が適所に配置されており、学習効果を上げる工夫がされている。 ・その学年で学習する漢字については、全ての教材でその初出箇所に振り仮名が付けられている。また、固有名詞については、全て振り仮名が付けられており、負担を軽減する配慮がされている。 ・発達段階を考え、理解が難しいと思われる言葉については、内容理解のために必要な解説を脚注として加えている。 ・本文には5行ごとに行番号がつけられてい、内容の指示がしやすい工夫がされている。 ・キャラクターの「ふきだし」は、文章をまとまりごとに改行（文節改行）することで、読み取りやすくなるよう工夫がされている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【4/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>光村図書 「きみがいちばん ひかるとき」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法および学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことへの配慮・工夫が見られる。 ・全学年の教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示されており、「自分ならどうするだろう、どう考えるだろう」という主体的な姿勢で学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・全学年を通して、教材末に学習のてびき「考えよう・話し合おう」が設けられている。自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて配置されている。 ・児童が自己評価の記録を残す「学びの記録」が学年3か所に位置付けられている。 ・各学年とも年間を3つのまとまりに分けられ、学習指導要領に示されたA～Dの4つの視点が、まとまりごとに重点を置いて配置されている。 ・学習指導要領に示された内容項目は、それぞれの学年において網羅されている。各教材がどの内容項目と対応するかは、教材冒頭のマークと主題で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる心」については、全学年を通して、様々な内容項目から「いじめ問題」に結びつく教材とコラムとを組み合わせた「ユニット」が設定されており、「いじめ」をしない、させない、見過ごさない力が系統的に育成されるよう工夫されている。 ・「たくましく生きる力」については、全学年を通して情報モラルの内容を扱ったコラムと教材とを組み合わせた「ユニット」が設定されている。道徳科の特質を踏まえたうえで、情報モラルに関して深く考えることができるよう工夫されている。 ・「社会とかかわる力」については、身近で働く人への共感や憧れ、地域行事への参加、ボランティア活動の意義の自覚など、児童の視点に立ち、労働の価値や尊さが実感できる教材が随所に配置されている。第6学年では「働く人へインタビュー」や「やりがいについてのアンケート」も資料として掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年以上の教材末の学習のてびきには「つなげよう」が設けられており、他教科で学習する内容と関連付け、特別活動や学校行事との関連付け、関連する内容の図書の紹介などが、キャラクターによって示されている。 ・第1学年では、第1～5教材までを入門期として位置付けている。学校生活・家庭生活・登下校・友達との交流など、入学間もない児童の生活実態に即して道徳を学ぶことの楽しさを実感できるよう文字を極力用いず、絵を見て考えを引き出せるよう教材化が図られている。 ・全学年を通して、阪神・淡路大震災、東日本大震災など安全や防災を題材とした教材が配置されており、自らの命、他者の命を尊重し、それを守るために「常に備え、未来に伝える」という意識をもつための配慮がなされている。 ・それぞれの教材は1時間の授業をイメージしやすいように、「導入⇒教材⇒学習のてびき」で構成されている。 ・読み物教材だけでなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、見開きの1枚絵や写真からなるなど、多様な教材が位置付けられている。 ・巻末には、児童の学習意欲を喚起し道徳性を培う助けとなる資料が豊富に掲載されている。 ・全学年を通して、巻頭に「みんな 生きている みんなで 生きている」の詩が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型は、B5変形版を採用している。 ・各学年の児童の発達段階や特性を考慮し、それぞれの学年にふさわしい教材選定となっている。 ・教材は発達段階を考慮したページ数となっている。 ・学習指導要領に示された内容項目が、全ての学年に網羅されており、6学年を通して関連し合っている。児童が小学校の6年間を通して考えを深め、高められるよう、全体の系統化が図られている。 ・教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真が随所に配置されている。説明内容を解説するための写真や図・グラフを必要な個所に配置し、本文の理解を助けるよう工夫されている。表やグラフは、その学年までに学習した他教科の内容を踏まえたものになっている。 ・「道徳の時間にみんなで考えていこう」が設けられ、1年間に学ぶ道徳の内容と自分との関わりが見開きで一覧できるページがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の担当漢字には全てふりがながつけられている。 ・第1学年では、数字以外は漢字表記とせず、平仮名が用いられている。 ・本文の理解を助ける脚注も随所に配置されている。 ・教科書全般にわたって、教科書や挿絵に登場する人物や執筆者について、性別による偏りがないうよう、十分な配慮がなされている。また、人種に配慮した記述がなされている。 ・表記においては、第1学年は、文節分かち書き、第2学年では3分程度の分かち書きとしており、低学年の児童の読みの負担を軽減するための配慮がなされている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【5／8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>日本文教出版 「生きる力」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第二条第二号に示されている「個人の価値の尊重」という観点から「いじめ問題」が重点的に取り上げられ、複数教材とコラムを組み合わせたユニットとして構成され、集中的に考えられるように配慮されている。 ・教育基本法第二条第三・四・五号に示されている「人権尊重・生命の尊さ・伝統と文化」等に関連した内容が各学年に配置してある。 ・学校教育法との関連では、学年の始まりにオリエンテーションページが設けてあり、道徳を学習することの意義やその内容について理解することができるようになっていいる。また、各学年、複数教材で「学習の手引き」が設定され、問題解決的な学習の手法を用いた授業展開の例等が解説されている。さらに、児童を主体的な学びに導くため、文学作品からスポーツ、芸術、身近な生活場面まで多岐にわたる主題が取り上げられている。 ・学習指導要領にある「多面的・多角的に考えたいくなる」ための工夫としては、別冊の「道徳ノート」に自由記述欄が設けられ、巻頭にて友達の意見の記入ができることにも触れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、人とのかかわりを重点テーマとして複数の教材が位置付けられている。 ・「たくましく生きる力」については、現代の多様な諸課題に対しての配慮が行き届いており、思いやり、命、情報モラルなどを取り扱った教材が設けられている。 ・「社会とかかわる力」については、現代の多様な諸課題に対しての配慮が行き届いており、環境問題、安全、キャリア教育などの社会的な課題を考えることができる教材が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭オリエンテーションページの「道徳の学び方」では、学習方法が解説されている。「①気づく」→「②考える・深める」→「③見つめる・生かす」と示され、特に「②考える・深める」では、話し合い活動が具体的に写真で提示されており、「考える道徳」「議論する道徳」が視覚的にとらえられるよう工夫されている。 ・児童が主体的に道徳性を養うための指導への配慮として、児童の考えを引き出すための紙面づくりがされている。児童の思考の流れに沿った発問が設定され、自発的な思考を引き出せるように配慮されている。 ・1年では、「保・幼、小」の連携に配慮し、5～6年生では、中学校段階との接続を視野に入れた内容を構成するなど、校種間連携に配慮している。 ・他教科等との関連においては、「学習の手引き」に、活動等での多様な実践活動や体験活動を生かした学習の展開例を記したページがあり、児童の体験をもとに思考を深められるように工夫されている。 ・各学年、複数の教材で教科書デジタルコンテンツが用意されており、教材に関連した画像や動画を、インターネットを通して閲覧して児童が興味・関心を維持しつつ考えを膨らませられるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA B判が採用されている。 ・各学年とも35（1年は34）の主教材のほかに、「ふろく」として3教材を収めており、各学校で年間指導計画を検討する際に選択の幅を広げることができるのと同時に、多様な教材を参考に、自主教材の開発に役立てることができるように工夫されている。 ・製本の工夫として、ブック・イン・ブック形式で製本され、別冊「道徳ノート」が本冊にちょうど収まるように配慮されている。 ・学年ごとに、児童や学級の実状をふまえ、1学期には学級づくりや学校生活・手段生活の充実（低学年）、オリエンテーションやよりよい人間関係の形成（3年～6年）、3学期には振り返り、深化、発展（次学年や中学校段階との連携を含む）を意識した内容項目や教材が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までが使用され、当該学年以上の漢字やキーワード・固有名詞等の漢字には、すべてにふりがながつけられ、読みの抵抗を少なくするよう配慮されている。 ・頭注欄を活用し、やや難解な語句、教材の読み取りのため必要な補足説明がていねいに解説されている。 ・読み取りやすさに配慮された教科書である。スムーズに読み進められるように、本文の割り付けは、読みやすいまとまりで改行している。また、教材タイトルの部分にあらすじを示したり、必要に応じて主な登場人物を整理して配置したりするなどして、教材を読み取る際の抵抗をできるだけ緩和するための配慮がされている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【6／8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
光文書院 「ゆたかな心」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第二条の「勤労、公共の精神」に関わる内容をもとに、様々な人物に焦点を当て題材が吟味されており、キャリア教育にもつながる生き方を学ぶ教材が設けられている。 ・学習指導要領の内容の指導に当たって配慮すべき事項の「計画的・発展的な指導を行うこと」に関しては、学校や児童の実態などに即して弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2～6学年には5本のふろくの教材がある。 ・「自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むこと」に関しては、学習後のふり返りを記述し蓄積できるよう、巻末自己評価シート「学びのあしあと」が設けられている。 ・「言語活動を充実すること」に関しては、コラム「ことばのたからもの」が配置され、人生の道標や支えとなるような名言が紹介され、教材とも関連させながら、言葉のもつ力を実感できるよう、工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、他者の良さを認める心や、差別や偏見をなくすための「人権」に関するコラムが設けられている。 ・「たくましく生きる力」については、情報社会を生きるために情報モラルを取り扱った教材、コラムが各学年に1～2本設けられており、6年間を通して学習できるように配慮されている。 ・「社会とかかわる力」については、「国際理解、国際親善」の内容項目の教材や、諸外国の生活や文化について紹介したコラムが各学年に配置されている。諸外国の文化や生活について触れながら、その文化や生活を尊重し、共に親しむことにつながるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の教科の目標達成に向けて、冒頭に「導入」、末尾に「まとめる（終末）」「ひろげる（発展）」が設定されており、1時間の授業の目的や流れが明確になっている。 ・冒頭の「導入」で児童の経験を想起させたり、主題に関わる問題意識をもたせたりすることで、教材の内容に興味・関心を抱かせやすくする工夫がされている。 ・地域の実態に応じた、多様な地域教材が設けられている。 ・各学年の他教科での学習や特別活動が意識され、教材の題材や発展での活動が精選されている。 ・「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」などの課題を題材とした教材が、発達段階を考慮しながら全学年に設けられている。 ・児童の心を揺さぶり、共感を呼ぶ教材で深い学びを促すような工夫がされている。 ・教師用指導書にはデジタル教材がセットになっており、教材の内容を深める動画や教科書紙面を大きく投影できる電子ブック、教材内のイラストデータなどが収録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型は、A4変型版が採用されている。 ・スペースが大きく見やすい紙面になるよう配慮されている。 ・写真やイラストが大きく引き立ち、児童の興味・関心や思考が深まるよう、工夫されている。 ・教材の内容が分かりやすく、かつ考える時間を十分に取れるよう、発達段階に応じて学年ごとの教材の文章量が配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字は、前学年までに習った漢字の使用を基本とし、文節で改行を行うなど、読みやすさに配慮されている。1年～3年生は全てふりがなにすることで、読みによるつまづきが減るような工夫がなされている。 ・分かりにくい言葉は、脚注で取り上げ解説している。 ・単語のまとまりごとにとらえやすくなるよう、文節改行の工夫がされている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【7/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>学研 「新・みんなのどくとく」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法にある「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができる」ということについては、全学年の巻頭部分にオリエンテーション「道徳の学習が始まるよ」という教材を配置している。また、各学年の随所に「やってみよう」を配置している。 ・教育基本法にある「個人の価値を尊重し」ということについては、「善悪の判断、自律、自由と責任」、「個性の伸長」、「勤労、公共の精神」の内容項目の教材を中心に各学年に配置している。 ・学習指導要領に示されている「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う」ことについては、「生命の尊さ」の項目は全学年の重点項目とし、各学年3教材を扱うとともに、「感動、畏敬の念」も各学年に配置している。 ・学習指導要領にある「未来を拓く主体性のある日本人の育成」については、視点を定め、考えを深めるポイントを示し、「主体的な学習態度をはぐくむように工夫している。 ・「主体的に学習に取り組む態度を養う」ために、巻頭と巻末に児童が記入する欄を設け、自身の成長を振り返り、課題や目標を見つけられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、他者を尊重する力を育むために、児童がイメージしやすい物語教材を多く設けている。 ・「たくましく生きる力」については、道徳での学習を日常生活に生かし、豊かな心をはぐくむことができるよう、特設ページを中心に工夫している。 ・「社会とかかわる力」については、家族の一員としての役割や植物を育てる経験からイメージをふくらませるような内容を教材として扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最重点テーマを「いのちの教育」とし、教材数の充実とユニット学習の二段構えで「広く深い学び」となるよう工夫している。 ・「考え、議論する道徳」の実現に向けて、子どもの「問い」を大切に扱うための工夫をしている。 ・特定の価値観を押し付けないよう、主題名を冒頭に記載していない。 ・新しい教材と長く活用された確かな教材をバランスよく扱っている。 ・いじめを生まない力を引き出すため、いじめ防止につながる教材をさまざまな内容項目で、取り上げ、多面的・多角的に考えられるようにしている。 ・今日的な課題への対応として、情報モラルや、安全・防災、食育、国際理解、平和などに対応した教材も取り上げている。 ・地域に関連した教材や、人材の内容を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に対して「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」「広げよう」の4種類の学び方の特設ページで物事を多面的・多角的に捉えられる構成にしている。 ・大きなA4判型で、挿絵や写真の大きさが大きくや分量も豊富に掲載し、児童の感性や学習意欲に訴えかけるよう工夫している。 ・学年段階に合わせて、使用する文字の大きさ、字詰めや行数を調整している。 ・色覚多様性に配慮して、見やすい、見分けやすい配色をしている。マークについても色だけではなく、デザインの違いも工夫している。 ・製本はホチキス止めによる針がなく、PUR糊の使用による特殊加工を施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントは大きく見やすい書体（ユニバーサルフォント）を使用している。 ・該当学年の漢字や固有名詞には振り仮名を付けている。

令和2年度～令和5年度使用小学校教科用図書調査票

教科名【 特別の教科 道徳 】 No.【8/8】

発行者 教科書名	教育基本法, 学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
廣済堂あかつき 「小学生のどうとく」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法にある「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については、「みんなで考え、話し合う」ことが本冊と、「自分を見つめ考えることができる別冊「道徳ノート」の2冊の相乗効果、豊かな情操と道徳心を培うよう構成している。 ・教育基本法にある「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い・自主性及び自立の精神を養う」については、学習全般を通して、自己肯定感を高め、自己と他者の価値を尊重する態度を養うことができるように配慮している。 ・教育基本法にある「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」については、低・中学年は自分自身の命を守るという安全の視点から、高学年は生命の有限性、偶然性、連続性、唯一無二であることなど、生命をさまざまな側面から考えるという視点で特集ページを設け、他教科や日常生活との関連が図れるようにしている。 ・教育基本法にある「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」については、「時（文化）のつながり」から考え、自らの拠としての伝統や文化に注視し、それらを担い受け継ぐ自覚を深めるような教材の配置について配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」については、教材について考えたり他者との話し合いにより多様な考え方や感じ方に接したりすることができるよう「考えよう話し合おう」における問いを工夫している。 ・「たくましく生きる力」「社会とかかわる力」については、児童が日常生活を振り返って、道徳的価値の意義や大切さについて考えることができる教材や今日的課題を扱った教材など、自己を肯定的に捉え、未来に向けた展望が開け、自分の生き方の中で役立つような考察ができるような教材を選定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の特質を踏まえ、発達段階に配慮しながら、各教科の学習内容や教育活動との時期と内容の関連を考慮し配列している。 ・冒頭に「道徳の時間はこんな時間」、別冊巻末に「自分を見つめ、考えよう」を設け、道徳の時間の学習活動や考える視点をイメージしやすくしている。 ・「生命の尊さ」を重点項目とし、全学年3教材を配置するともに特集ページを設けている。 ・本冊・別冊の裏表紙「保護者の皆様へ」や、別冊「心のノート」の巻末折り込みには、教師や保護者が児童の記述を確認できる欄があり、家庭との連携を図ることができるようにしている。 ・これからの情報社会で必要となる情報モラルの問題を扱っている。中・高学年においては、本冊に特集ページを組み、折に触れて活動できるよう工夫している。 ・食育や健康、安全・防災教育を扱った教材や国際理解教育、持続可能な社会を扱った教材など、現代的な課題に関する指導への配慮もされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって見やすく親しみやすくするため、ワイドなA B判を採用し、ゆとりのある紙面やイラストを大きくとっている。 ・「考えよう・話し合おう」の問いをもとに「自分自身に問う」ことを通して、主体的・対話的で深い学びになるようにしている。3年生以降は、その中に「学習を広げる」として、学習の広がりや深まりが促されるよう構成されている。 ・1年生と高学年の内容において、幼稚園や中学校との連携をふまえている。 ・別冊は、筆記性を重視しながら持ち運びを考え、軽量化を図っている。また、留め具の針金の先端を内側に十分に曲げ、安全性に配慮している。 ・本冊の中に、別冊を挟んで収納できるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年配当漢字を含む未習の漢字については、初出だけでなく全てふりがながふってある。 ・児童の発達段階に応じた文字の大きさを使用している。 ・マークは、色とデザインの双方から判別できるような工夫がされている。